

平成27年度
県民の体力・スポーツに関する調査
結果報告書【時系列比較】

平成28年 2 月

神奈川県立体育センター

信じよう。スポーツの力を。



平成27年度
県民の体力・スポーツに関する調査
結果報告書【時系列比較】

平成28年2月

神奈川県立体育センター

目 次

I	調査の概要	1
1	調査目的	3
2	調査実施概要	3
—(1)	調査地域	3
(2)	調査対象者	3
(3)	標本数	3
(4)	抽出方法	3
(5)	調査方法	4
(6)	調査期間	4
(7)	調査実施機関	4
3	回答者の属性	5
(1)	居住地区別	5
(2)	性別	5
(3)	年代別	5
II	調査結果の詳細	7
1	健康・体力観	8
(1)	自身の健康観	8
(2)	自身の体力観	8
(3)	肉体的な疲労	9
(4)	精神的な疲労・ストレス	9
(5)	体力の衰え	10
(6)	運動不足	10
(7)	自身の肥満度	11
(8)	健康や体力への注意	11
(9)	健康・体力維持への留意点	12
2	運動・スポーツの実施状況及び今後の意向	13
(1)	1年間に行った運動・スポーツ種目	13
ア	楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ	13
イ	野外活動等	14
ウ	競技として行うスポーツ	15
(2)	1年間に行った運動・スポーツの日数	16
(3)	運動・スポーツをした理由	17
(4)	運動・スポーツをした効果	18
(5)	運動・スポーツをしなかった理由	19
(6)	運動・スポーツ活動の満足度	20
(7)	今後（も）行いたい（行ってみたい）運動・スポーツ	21
ア	楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ	21
イ	野外活動等	23
ウ	競技として行うスポーツ	24
3	スポーツ施設	25
(1)	公立スポーツ施設設置状況	25
(2)	公立スポーツ施設への要望	26
(3)	学校の体育施設利用状況	27
(4)	学校の体育施設を利用しなかった理由	28

(5) 今後設置を希望する公共スポーツ施設	29
4 県のスポーツ施策	30
(1) 「総合型地域スポーツクラブ」の認知	30
(2) 「3033 (サマルササ) 運動」の認知	31
(3) 「3033 (サマルササ) 運動」の実践	31
(4) 「県民スポーツ週間」の認知	32
(5) 「県民スポーツ週間」への参加状況	32
(6) 「県民スポーツ週間」参加経験イベント	33
5 スポーツ全般についての意見	34
(1) 運動・スポーツ関連情報ニーズ	34
(2) 運動・スポーツ行事・教室について	36
ア 県・市町村のスポーツ行事参加状況	36
イ 県・市町村主催のスポーツ教室参加状況	37
ウ 県・市町村主催のスポーツ教室参加意向	38
(3) 運動やスポーツのクラブ・同好会について	39
ア 運動やスポーツのクラブ・同好会への加入状況	39
イ 加入している運動やスポーツのクラブ・同好会の種類	40
ウ 運動やスポーツのクラブ・同好会への加入動機及び目的	41
エ 現非加入者の今後の加入意向	42
オ 加入したい運動やスポーツのクラブ・同好会	43
(4) スポーツ観戦について	44
ア スポーツ観戦への関心	44
イ スポーツ観戦経験	44
ウ 希望するスポーツ観戦レベル	45
エ 希望するスポーツ観戦競技	46
(5) スポーツに関するボランティア活動について	47
ア スポーツに関するボランティア活動経験	47
イ スポーツに関するボランティア活動の内容	48
ウ スポーツに関するボランティア活動への今後の参加意向	49
(6) 地域のスポーツ振興について	50
ア 地域のスポーツ振興に期待する効果	50
イ 県の取組みへの要望	51

I 調査の概要

1 調査目的

県民の体力・スポーツの意識や実態を把握するとともに過去の同調査と比較し、今後のスポーツ施策等の基礎資料を得る。

2 調査実施概要

(1) 調査地域

神奈川県全域

(2) 調査対象者

平成27年度調査：平成27年4月1日現在で満20歳以上の男女個人

平成22年度調査：平成22年4月1日現在で満20歳以上の男女個人

平成18年度調査：平成18年4月1日現在で満20歳以上の男女個人

平成13年度調査：平成13年4月1日現在で満20歳以上の男女個人

(3) 標本数

調査年度	設定標本数	有効回収 標本数	有効回収率
平成27年度調査	3,000	1,268	42.3 %
平成22年度調査	3,000	1,359	45.3 %
平成18年度調査	3,000	1,185	39.5 %
平成13年度調査	3,000	1,209	40.3 %

(4) 抽出方法

住民基本台帳を用いた層化2段階無作為抽出法

◆ 第1段抽出：調査地点の抽出

調査地域内をあらかじめ8地区（後述）に分割のうえ、県内の人口世帯累積表に基づいて150箇所の調査地点（町丁目単位）を抽出した。

※ただし、全ての市町村から地点を抽出したため、地区別でみた場合、人口構成比と抽出数に差がある地区がある。

◆ 第2段抽出：調査世帯の抽出

各調査地点より、条件に当てはまる男女個人を、住民基本台帳を用いて等間隔に20サンプルずつ抽出した。

(5) 調査方法

アンケート調査票を用いた往復郵送調査法

(6) 調査期間

調査年度	調査期間
平成27年度調査	平成27年8月14日（金）～ 9月14日（月）
平成22年度調査	平成22年7月16日（金）～ 8月10日（火）
平成18年度調査	平成18年7月6日（木）～ 8月1日（火）
平成13年度調査	平成13年8月27日（月）～ 9月28日（金）

(7) 調査実施機関

平成27年度調査：株式会社日本能率協会総合研究所

平成22年度調査：株式会社R J Cリサーチ

平成18年度調査：株式会社R J Cリサーチ

平成13年度調査：株式会社流通情報センター

本報告書は、アンケート調査票のうち、「問2（1）」から「問15（2）」についての結果を過去の調査結果とともに図表化のうえ、特徴点を記述したものである。

1 これまでの調査年度

- (1) 平成27年度
- (2) 平成22年度
- (3) 平成18年度
- (4) 平成13年度

2 集計（図表の数値）は、小数点第2位を四捨五入しており、単一回答結果の、数値の合計が100.0%にならない場合がある。

3 図表の「全体（1,268）」などは、該当する回答者数を表す。同様に小数点付き数値は該当選択肢への回答率を表す。

※ 選択肢の増減などの修正により、過去の結果と単純に比較できない質問項目もある。

※ これまでの調査結果との比較において±3ポイント以内の場合は、“同様”または“大きな差はない”と記述した。

3 回答者の属性

数値の単位：実数＝回答人数、％＝項目ごとの比率

(1) 居住地区別

平成27年度調査	横浜地区	川崎地区	※相模原地区	横須賀・三浦地区	湘南地区	西湘地区	県央地区	足柄上地区	無回答
実数	1,268	471	82	121	157	87	113	84	0
％	100.0	37.1	6.5	9.5	12.4	6.9	8.9	6.6	0.0

平成22年度調査	横浜地区	川崎地区	※相模原地区	横須賀・三浦地区	湘南地区	西湘地区	県央地区	足柄上地区	無回答
実数	1,359	490	108	109	193	86	115	103	6
％	100.0	36.1	7.9	8.0	14.2	6.3	8.5	7.6	0.4

平成18年度調査	横浜地区	川崎地区	横須賀・三浦地区	湘南地区	西湘地区	県央地区	足柄上地区	※県北地区	その他	無回答
実数	1,185	425	79	141	83	109	85	110	1	11
％	100.0	35.9	6.7	11.9	7.0	9.2	7.2	9.3	0.1	0.9

平成13年度調査	横浜地区	川崎地区	横須賀・三浦地区	湘南地区	西湘地区	県央地区	足柄上地区	津久井地区	無回答
実数	1,209	412	96	136	82	159	98	83	16
％	100.0	34.1	7.9	11.2	6.8	13.2	8.1	6.9	1.3

※ 平成22年度の相模原地区：相模原市（平成18年度は県北地区）

※ 平成18年度の県北地区：相模原市（平成13年度は県央地区）城山町、津久井町、相模湖町、藤野町（平成13年度は津久井地区）

(2) 性別

平成27年度調査	男性	女性	無回答	
実数	1,268	611	657	0
％	100.0	48.2	51.8	0.0

平成18年度調査	男性	女性	無回答	
実数	1,185	518	663	4
％	100.0	43.7	55.9	0.3

平成22年度調査	男性	女性	無回答	
実数	1,359	594	762	3
％	100.0	43.7	56.1	0.2

平成13年度調査	男性	女性	無回答	
実数	1,209	552	648	9
％	100.0	45.7	53.6	0.7

(3) 年代別

平成27年度調査	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	
実数	1,268	73	157	236	237	294	271	0
％	100.0	5.8	12.4	18.6	18.7	23.2	21.4	0.0

平成22年度調査	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	
実数	1,359	151	257	290	280	341	35	5
％	100.0	11.1	18.9	21.3	20.6	25.1	2.6	0.4

平成18年度調査	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	
実数	1,185	89	176	228	283	269	133	7
％	100.0	7.5	14.9	19.2	23.9	22.7	11.2	0.6

平成13年度調査	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	
実数	1,209	119	200	250	280	229	122	9
％	100.0	9.8	16.5	20.7	23.2	18.9	10.1	0.7

Ⅱ 調査結果の詳細

1 健康・体力観

(1) 自身の健康観

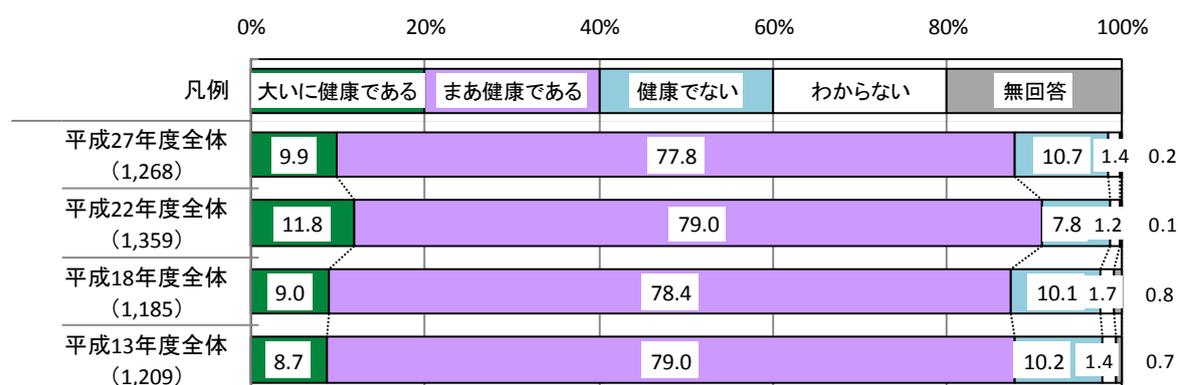
問2 (1) ご自身の健康について、どう思いますか。1つだけ○をつけてください。

1 大いに健康である 2 まあ健康である 3 健康でない 4 わからない

全員に自身の健康観をたずねたところ、「まあ健康である」が77.8%、「大いに健康である」が9.9%であった。

《健康である計（「大いに健康である」＋「まあ健康である」）》は9割弱（87.7%）であり、平成22年度（90.8%）から低下（3.1ポイント）し、平成18年度以前と同様の結果となった。

【図表1-1：自身の健康観（全体比較）／単一回答】



(2) 自身の体力観

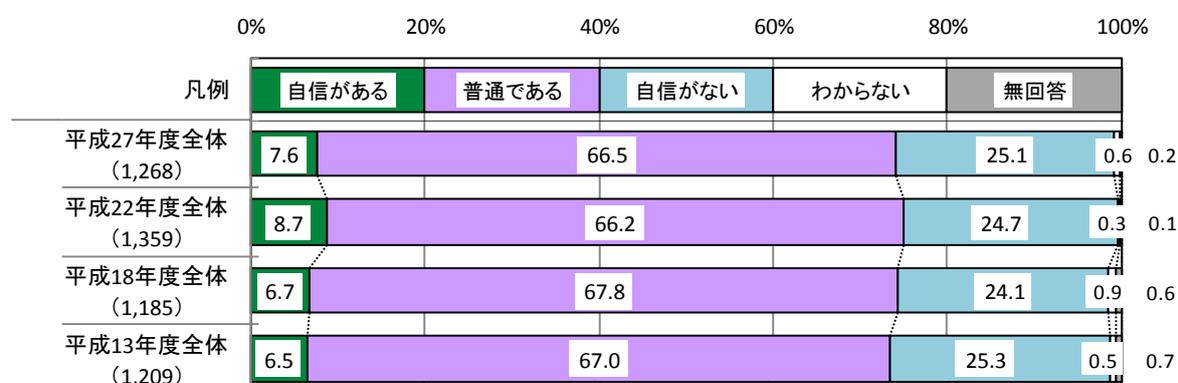
問2 (2) ご自身の体力について、どう思いますか。1つだけ○をつけてください。

1 自信がある 2 普通である 3 自信がない 4 わからない

全員に自身の体力についてたずねたところ、6割台半ば（66.5%）が「普通である」と回答した。また「自信がある」の7.6%に対し、「自信がない」は25.1%であった。

《自信がある計（「自信がある」＋「普通である」）》は、7割台半ば（74.1%）であり、これまでの各年度の調査と大きな差はなかった。

【図表1-2：自身の体力観（全体比較／単一回答）】



(3) 肉体的な疲労

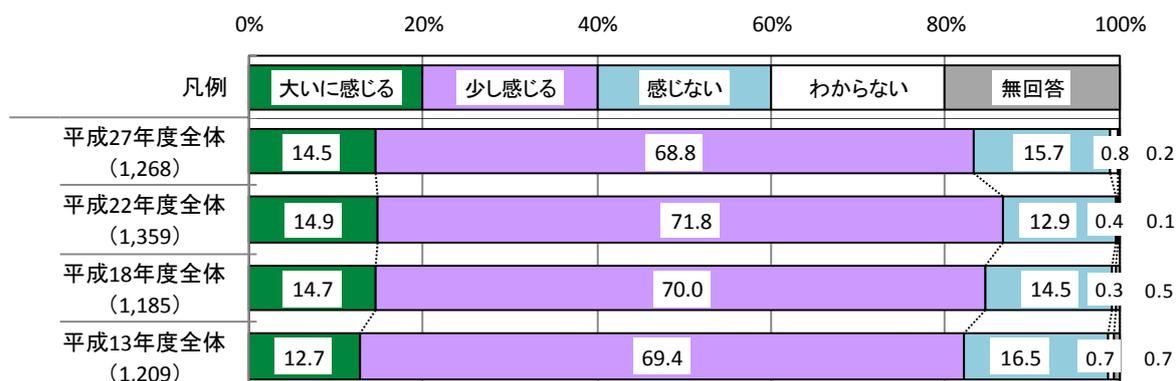
問2 (3) 日頃、肉体的な疲労を感じますか。1つだけ○をつけてください。

1 大いに感じる 2 少し感じる 3 感じない 4 わからない

全員に日頃の肉体的な疲労についてたずねたところ、「少し感じる」が7割弱（68.8%）であった。

《感じる計（「大いに感じる」+「少し感じる」）》は、8割台半ば（83.3%）であり、平成22年度（86.7%）と比較すると低下（3.4ポイント）しており、平成13年度以来、初めて割合が低くなった。

【図表1-3：肉体的な疲労（全体比較）／単一回答】



(4) 精神的な疲労・ストレス

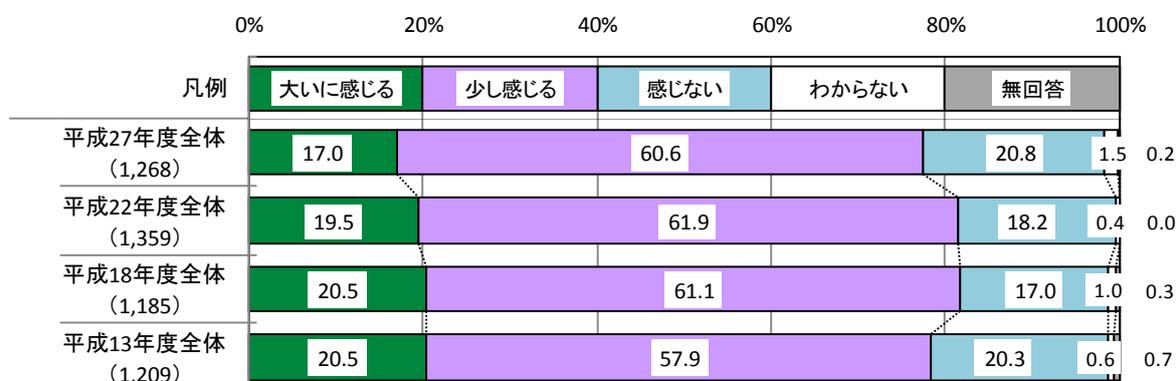
問2 (4) 日頃、精神的な疲労、ストレスを感じますか。1つだけ○をつけてください。

1 大いに感じる 2 少し感じる 3 感じない 4 わからない

全員に日頃の精神的な疲労・ストレスについてたずねたところ、「少し感じる」が60.6%、「大いに感じる」が17.0%であった。

《感じる計（「大いに感じる」+「少し感じる」）》は8割弱（77.6%）であり、平成22年度（81.4%）から低下（3.8ポイント）した。

【図表1-4：精神的な疲労・ストレス（全体比較）／単一回答】



(5) 体力の衰え

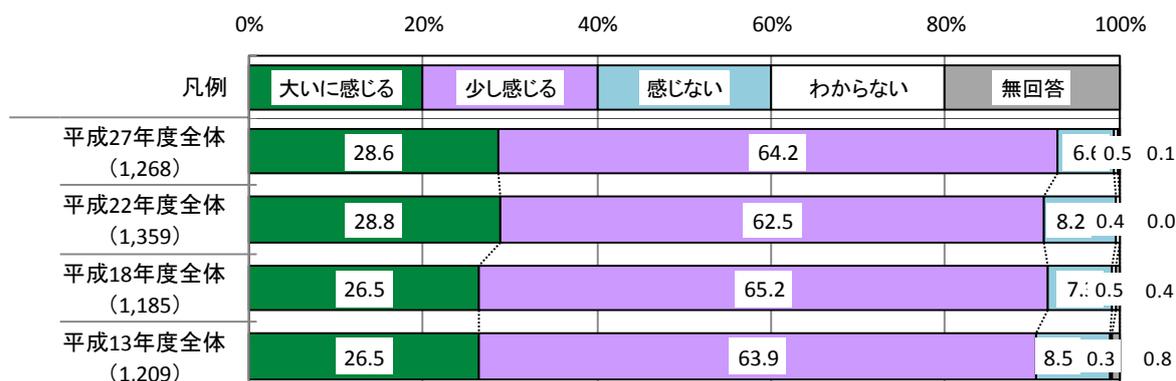
問2 (5) 日頃、体力の衰えを感じますか。1つだけ○をつけてください。

1 大いに感じる 2 少し感じる 3 感じない 4 わからない

全員に日頃の体力の衰えについてたずねたところ、「少し感じる」が64.2%、「大いに感じる」が28.6%であった。

《感じる計（「大いに感じる」＋「少し感じる」）》は9割強（92.8%）であり、これまでの各年度の調査結果と大きな差はなかった。

【図表1-5：体力の衰え（全体比較）／単一回答】



(6) 運動不足

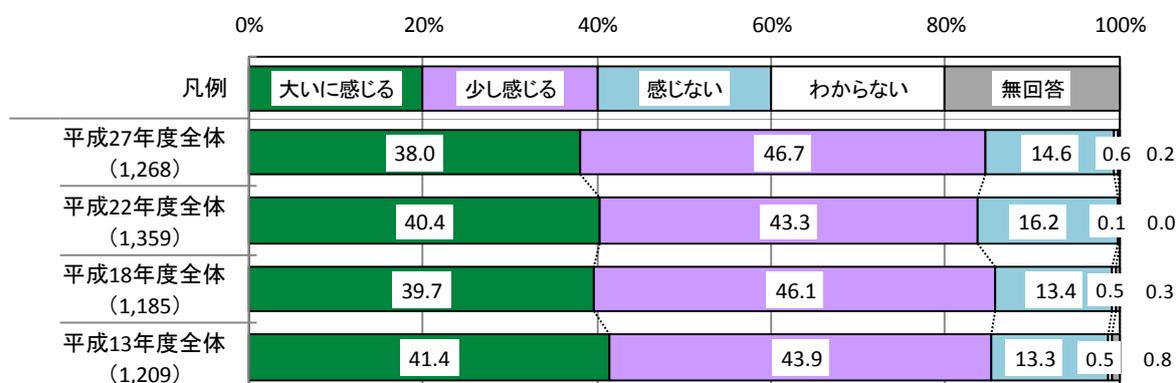
問2 (6) 日頃、運動不足を感じますか。1つだけ○をつけてください。

1 大いに感じる 2 少し感じる 3 感じない 4 わからない

全員に日頃、運動不足を感じるかについてたずねたところ、「少し感じる」が46.7%、「大いに感じる」が38.0%であった。

《感じる計（「大いに感じる」＋「少し感じる」）》は8割台半ば（84.7%）であり、これまでの各年度の調査結果と大きな差はなかった。

【図表1-6：運動不足（全体比較）／単一回答】



(7) 自身の肥満度

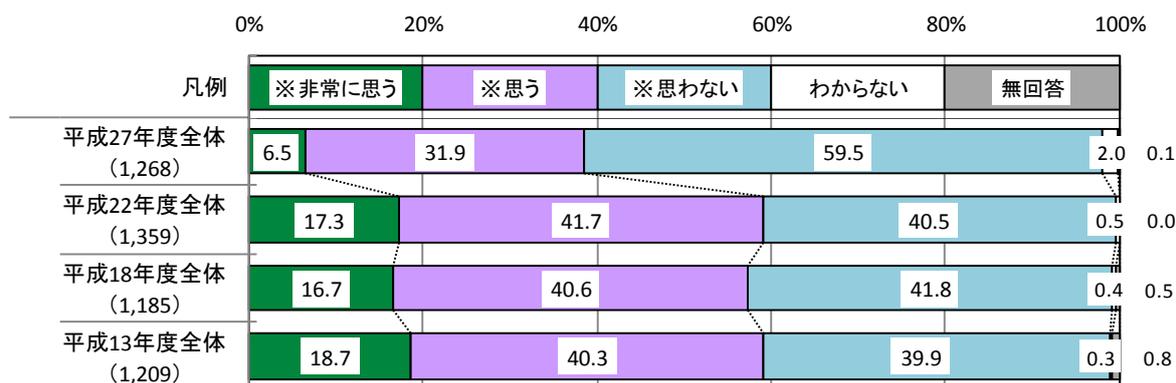
問2 (7) ご自身は肥満であると思いますか。1つだけ○をつけてください。

- 1 非常に思う 2 思う 3 思わない 4 わからない

全員に自身が肥満であると思うかたずねたところ、「思う」が31.9%、「非常に思う」が6.5%であった。

《思う計(「非常に思う」+「思う」)》は、4割弱(38.4%)であり、これまでの調査結果(6割弱)に比べて低下した。

【図表1-7：自身の肥満度(全体比較)／単一回答】



※は平成22年度調査までは「大いに感じる」「感じる」「感じない」

(8) 健康や体力への注意

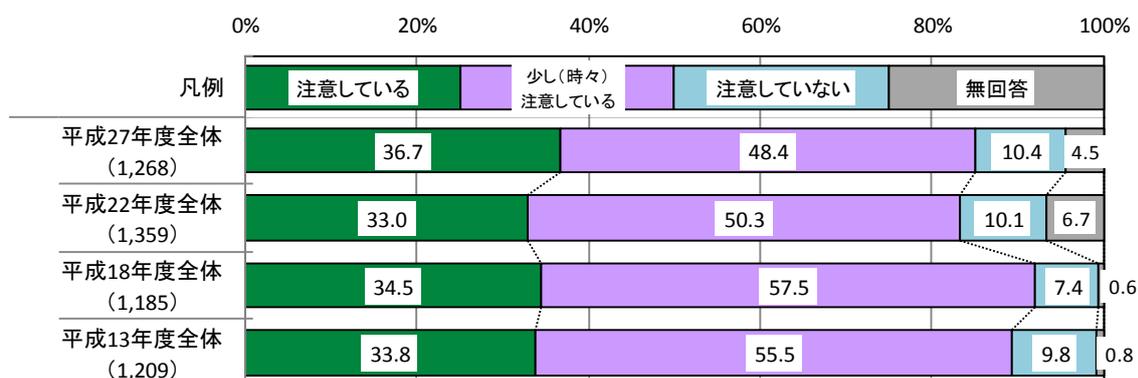
問2 (8) 日頃、健康や体力に注意していますか。1つだけ○をつけてください。

- 1 注意している → 問2(9)へ
 2 少し(時々)注意している → 問2(9)へ
 3 注意をしていない → 問3(1)へ

全員に日頃の健康や体力への注意の意識をたずねたところ、「少し(時々)注意している」が48.4%で、「注意している」(36.7%)であった。また、「注意している」は、これまでの調査の中で最も高かった。

《注意している計(「注意している」+「少し(時々)注意している」)》は8割台半ば(85.1%)であり、平成22年度(83.3%)からは1.8ポイント上昇したが、平成13年度(89.3%)・平成18年度(92.0%)と比較すると、低かった。

【図表1-8：健康や体力への注意(全体比較)／単一回答】



2 運動・スポーツの実施状況及び今後の意向

(1) 1年間に行った運動・スポーツ種目

ア 楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ

問3 この1年間で1日あたり30分※以上行った運動・スポーツは何ですか。

(1) 楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ (2) 野外活動等 (3) 競技として行うスポーツに分けて、回答してください。

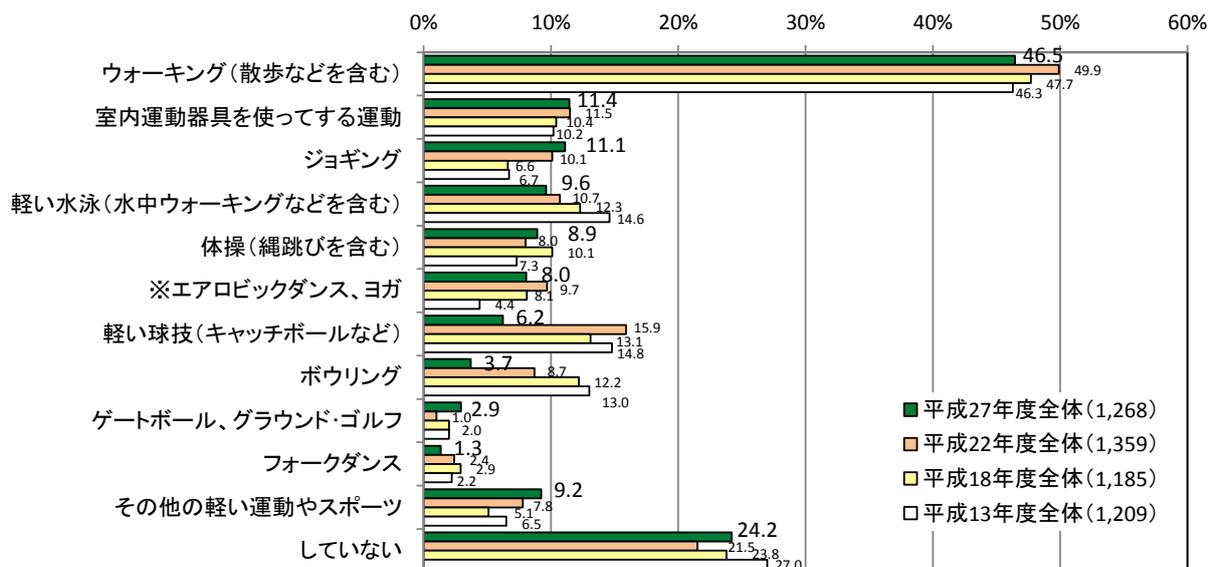
※1回あたり30分とは、1回10分程度の運動を合計して30分でも構いません。

(1) 楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ
あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- 1 軽い球技 (キャッチボール、バドミントン、テニスなど)
- 2 体操 (縄跳びを含む)
- 3 エアロビックダンス、ヨガ
- 4 ウォーキング (散歩などを含む)
- 5 フォークダンス (社交ダンス、民踊、車いすダンスなどを含む)
- 6 ボウリング
- 7 ゲートボール、グラウンド・ゴルフ
- 8 ジョギング
- 9 軽い水泳 (水中ウォーキングなどを含む)
- 10 室内運動器具 (ダンベル・チューブなど) を使ってする運動
- 11 その他の軽い運動やスポーツ (種目名)
- 12 していない

全員に、この1年間で1日あたり30分以上行った運動のうち【楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ】の実施状況についてたずねたところ、「ウォーキング (散歩などを含む)」が46.5%と高いが、平成22年度調査と比較すると、低下 (3.4ポイント) している。他の項目では「軽い球技 (キャッチボール、バドミントン、テニスなど)」 (9.7ポイント)、「ボウリング」 (5.0ポイント) が低下した。

【図表2-1: «楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ»の経験 (全体比較) / 複数回答 (3つまで)】



※は平成13年度調査では「エアロビックダンス (エアロビクス体操)」

イ 野外活動等

問3(2) 野外活動等

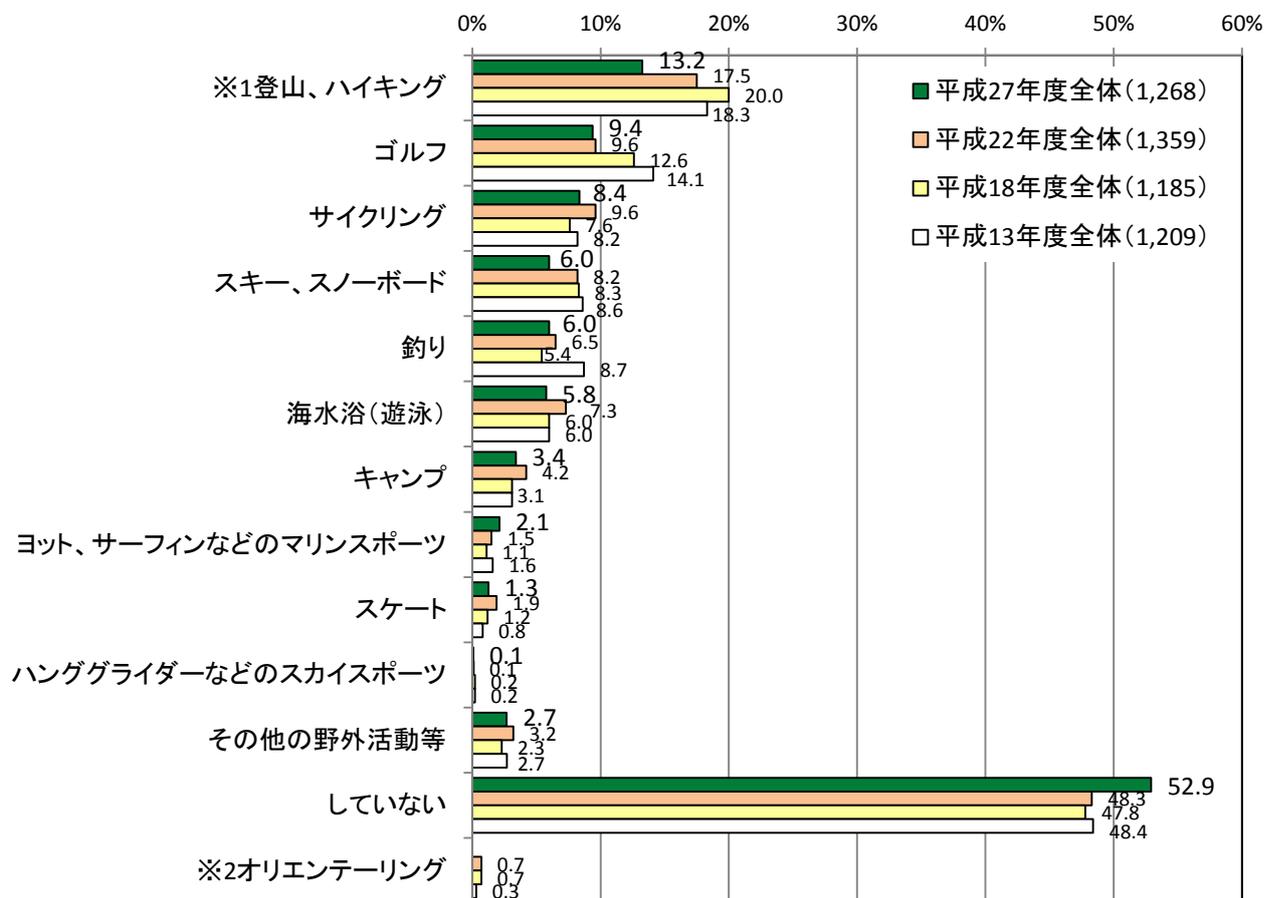
あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1 スキー、スノーボード | 7 ゴルフ |
| 2 海水浴（遊泳） | 8 ハングライダーなどスカイスポーツ |
| 3 スケート | 9 サイクリング |
| 4 登山、ハイキング | 10 釣り |
| 5 キャンプ | 11 その他の野外活動等
(種目名) |
| 6 ヨット、サーフィンなどの
マリンスポーツ | 12 していない |

注) 「4 登山、ハイキング」は平成22年度調査までは別の選択肢、「オリエンテーリング」は平成27年度調査から削除

全員に【野外活動等】の実施状況についてたずねたところ、「登山、ハイキング」が13.2%で、最も高かった。「ゴルフ」、「スキー、スノーボード」は、平成13年度以来、低下し続けている。ただし、「していない」が52.9%であり、初めて5割強となった。

【図表2-2：《野外活動等》の経験（全体比較）／複数回答（3つまで）】



※1は平成22年度調査までのデータは「登山」と「ハイキング」を合算してある

※2は平成27年度調査では削除

ウ 競技として行うスポーツ

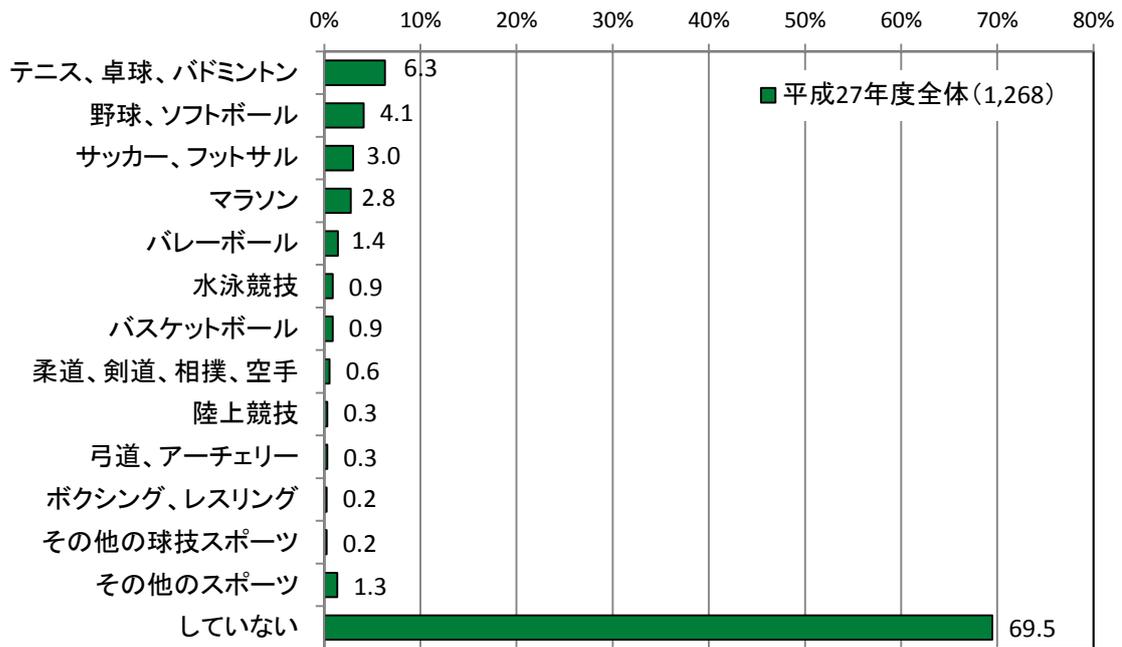
問3 (3) 競技として行うスポーツ

あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 陸上競技 | 10 テニス、卓球、バドミントン |
| 2 マラソン | (車いすテニス、サウンドテーブル |
| 3 水泳競技 | テニスなどを含む) |
| 4 柔道、剣道、相撲、空手 | 11 バスケットボール |
| 5 ボクシング、レスリング | (車いすバスケットボールなどを含む) |
| 6 弓道、アーチェリー | 12 その他の球技スポーツ |
| 7 野球、ソフトボール | (ラグビー、ハンドボールなど) |
| 8 サッカー、フットサル | 13 その他のスポーツ |
| (ブラインドサッカーなどを含む) | (種目名) |
| 9 バレーボール | 14 していない |
| (シッティングバレーボールなど含む) | |

全員に【競技として行うスポーツ】の実施状況についてたずねたところ、「テニス、卓球、バドミントン(車いすテニス、サウンドテーブルテニスなどを含む)」(6.3%)が最も高く、次いで「野球、ソフトボール」(4.1%)、「サッカー、フットサル(ブラインドサッカーなどを含む)」(3.0%)となった。ただし、「していない」は約7割(69.5%)であった。

【図表2-3：《競技として行うスポーツ》の経験(全体比較)／複数回答(3つまで)】



※平成27年度調査より選択肢を大幅に変更したため、単年度のみ掲載

(2) 1年間に行った運動・スポーツの日数

問3 (4) この1年間で1日に30分※以上運動・スポーツを、どの程度行いましたか。あてはまる番号に、1つだけ○をつけてください。

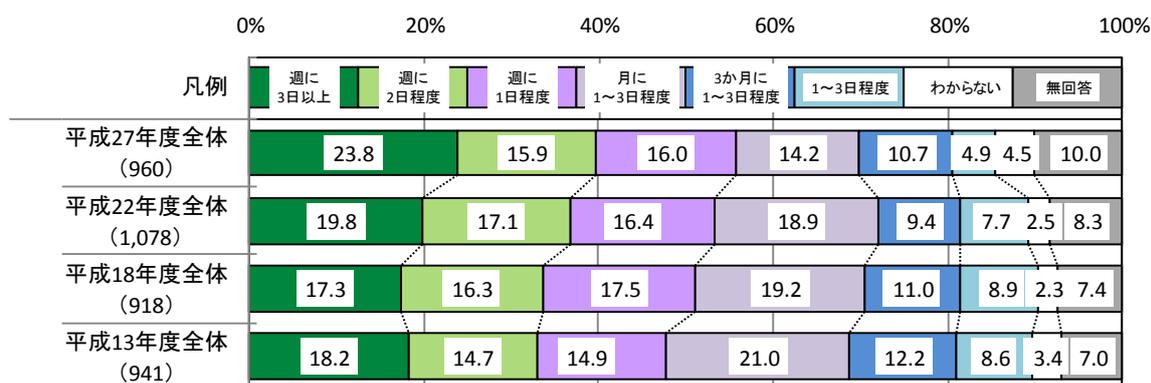
※1日30分とは、1回10分程度の運動を合計して30分でも構いません。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 週に3日以上 (151日以上) | 5 3か月に1～2日程度 (4～11日) |
| 2 週に2日程度 (101日～150日) | 6 1～3日程度 |
| 3 週に1日程度 (51日～100日) | 7 わからない |
| 4 月に1～3日程度 (12日～50日) | |

[問3(1)(2)(3)]で、いずれかの運動・スポーツを行ったと答えた人(960人)に、この1年間で30分以上運動した日数をたずねたところ、「週に3日以上(151日以上)」が23.8%と高いものの、全体的に分散している。平成22年度と比較すると、「週に3日以上(年151日以上)」が上昇(4.0ポイント)し、「月に1～3日程度(12～50日)」が低下(4.7ポイント)している。

《週1日以上》運動やスポーツを行った人の割合は、平成27年度(55.7%)と平成22年度(53.3%)に大きな差はなかった。

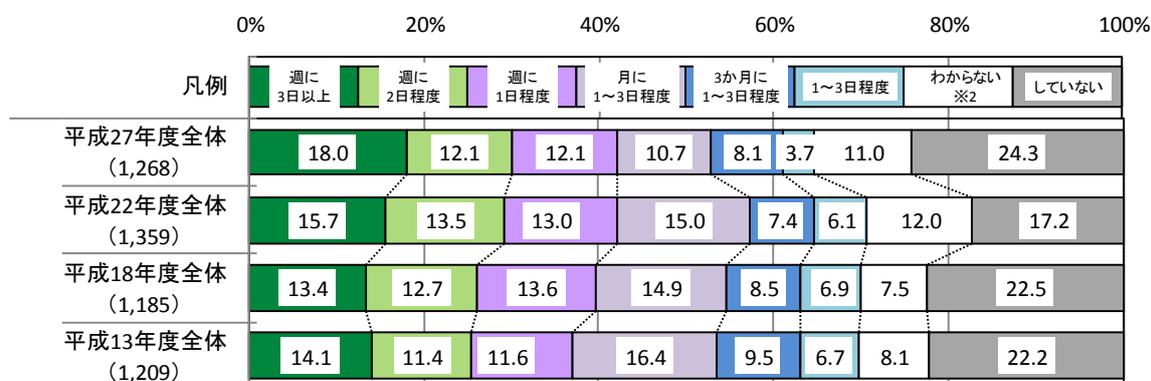
【図表2-4：1年間に行った運動・スポーツの日数(全体比較)／単一回答】



【参考図表1：「スポーツを行っていない」層を含めた1年間に行った運動・スポーツの日数(全体比較)／単一回答】

この1年間で1日あたり30分以上運動をしなかった層※1(下図の「していない」層)は24.3%であり、これを除けば「週に3日以上(151日以上)」が18.0%と最も高かった。

また、《週1日以上》運動やスポーツを行った人の割合は、平成22年度と同様42.2%だった。



※1問3(1)(2)(3)で「していない」と答えた人及び無回答の人で308人(全体の24.3%)

※2「わからない」は、無回答者を含んだ数値

(3) 運動・スポーツをした理由

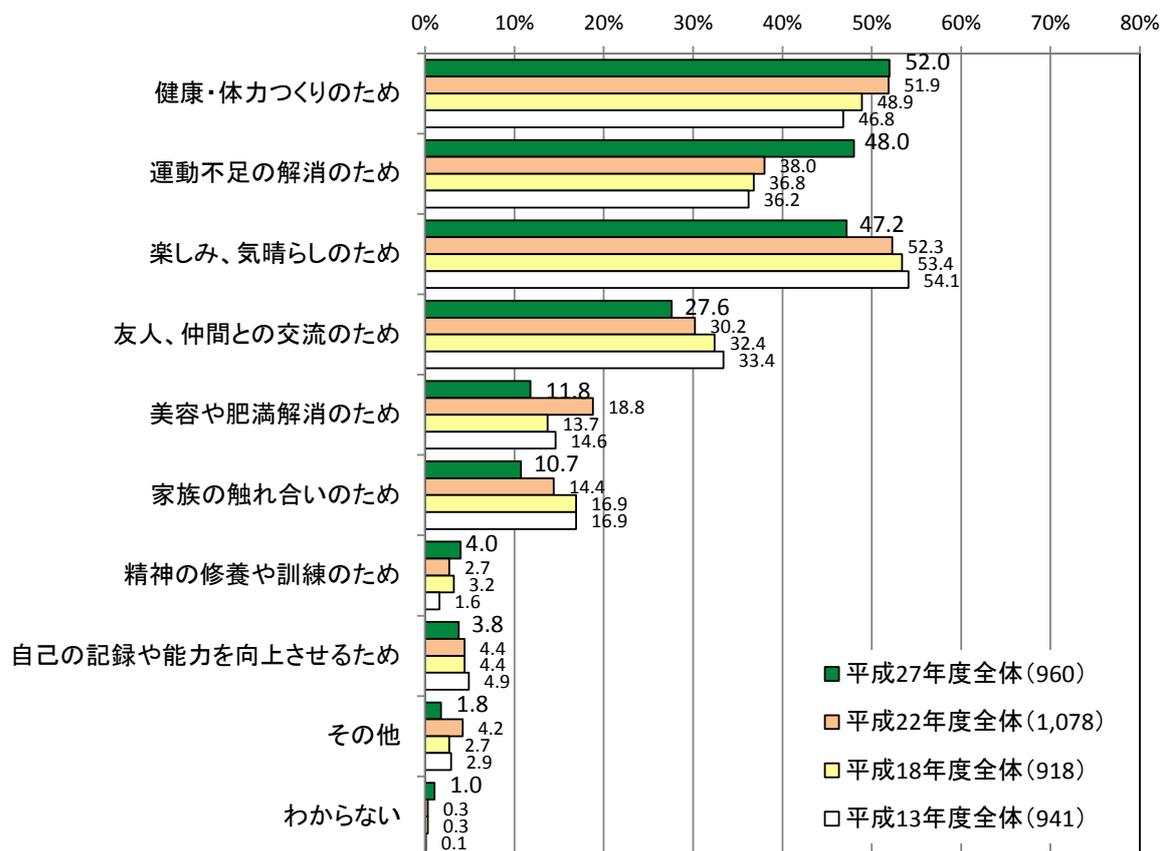
問3 (5) この1年間で運動・スポーツをした理由は何ですか。あてはまる番号に、3つまで ○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1 健康・体力づくりのため | 6 家族の触れ合いのため |
| 2 楽しみ、気晴らしのため | 7 友人・仲間との交流のため |
| 3 運動不足の解消のため | 8 美容や肥満解消のため |
| 4 精神の修養や訓練のため | 9 その他 () |
| 5 自己の記録や能力を向上させるため | 10 わからない |

[問3(1)(2)(3)]で、いずれかの運動・スポーツを行ったと答えた人(960人)に、この1年間で運動やスポーツをした理由をたずねたところ、「健康・体力づくりのため」(52.0%)が最も高く、次いで「運動不足の解消のため」(48.0%)となった。ともに平成18年度以来、上昇を続けている。

なお、「楽しみ、気晴らしのため」は、平成18年度以来トップだったが、今回は3位と順位に変化があった。

【図表2-5：運動・スポーツをした理由（全体比較）／複数回答（3つまで）】



(4) 運動・スポーツをした効果

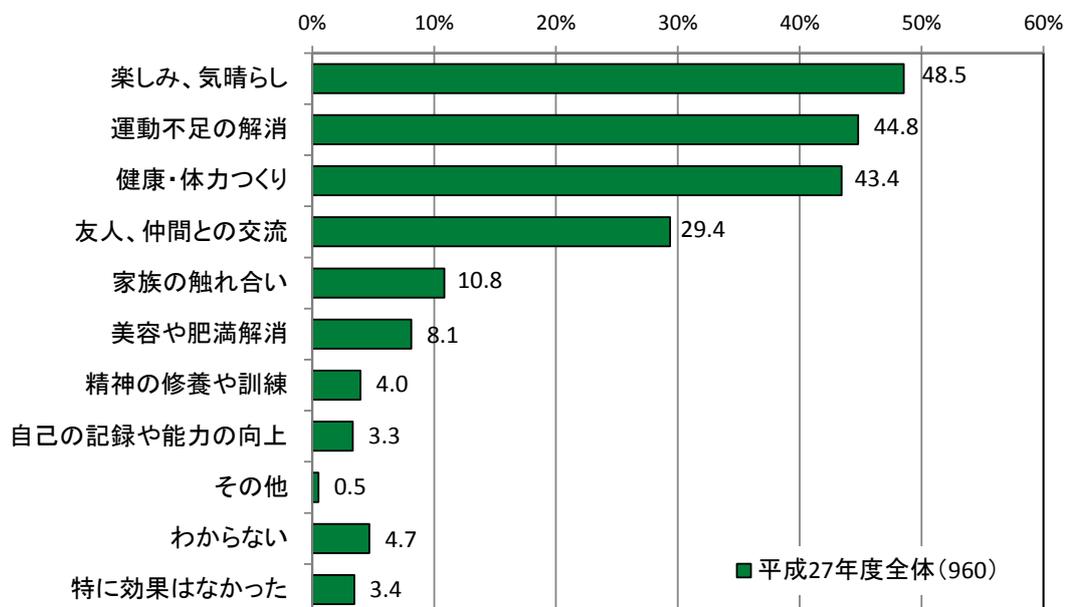
問3 (6) 運動・スポーツをしてどんな効果がありましたか。あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 健康・体力づくり | 7 友人・仲間との交流 |
| 2 楽しみ、気晴らし | 8 美容や肥満解消 |
| 3 運動不足の解消 | 9 その他 () |
| 4 精神の修養や訓練 | 10 わからない |
| 5 自己の記録や能力を向上 | 11 特に効果はなかった |
| 6 家族の触れ合い | |

注) 「問3 (6) 運動・スポーツをした効果」に関する設問は、平成27年度調査から新設

[問3(1)(2)(3)]で、いずれかの運動・スポーツを行ったと答えた人(960人)に、この1年間で運動やスポーツをした効果をたずねたところ、「楽しみ、気晴らし」(48.5%)が最も高く、次いで「運動不足の解消」(44.8%)、「健康・体力づくり」(43.4%)となった。

【図表2-6：運動・スポーツをした効果(全体比較)／複数回答(3つまで)】



※平成27年度調査より新設のため、単年度のみ掲載

(5) 運動・スポーツをしなかった理由

問3【前問の(1)(2)(3)で、すべてにスポーツを「していない」と答えた方におたずねします。】

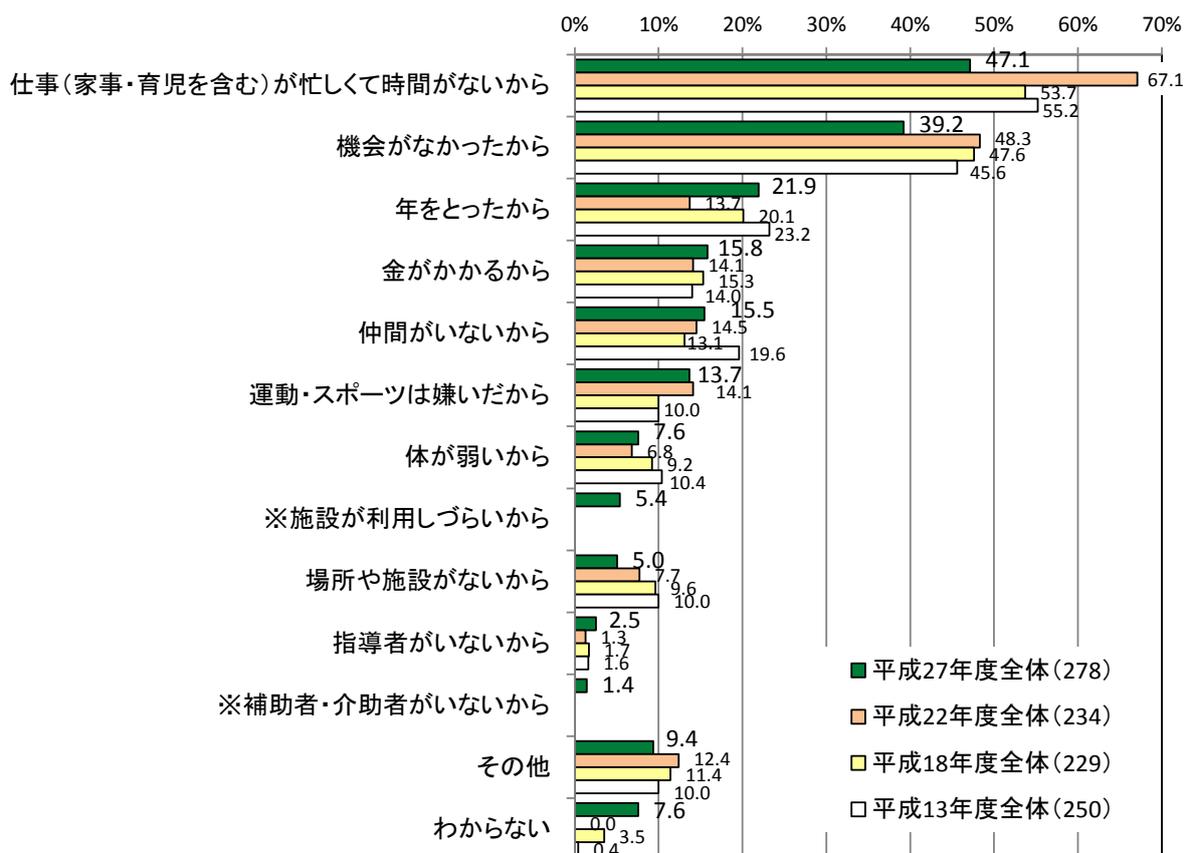
(7) この1年間で運動やスポーツをしなかった理由は何でしたか。あてはまる番号に、3つまで〇をつけてください。

- | | |
|----------------------------|--------------------------------|
| 1 仕事（家事・育児を含む）が忙しくて時間がないから | 7 指導者がいないから |
| 2 体が弱いから | 8 補助者・介助者がいないから |
| 3 年をとったから | 9 金がかかるから |
| 4 場所や施設がないから | 10 運動・スポーツは嫌いだから |
| 5 施設が利用しづらいから | 11 機会がなかったから |
| 6 仲間がいないから | 12 その他（ ） |
| | 13 わからない |

注) 「5 施設が利用しづらいから」「8 補助者・介助者がいないから」は平成27年度調査から追加

[問3(1)(2)(3)]で、すべてに「(運動・スポーツを) していない」と答えた人(278人)に、この1年間で運動やスポーツをしなかった理由をたずねたところ、「仕事(家事・育児を含む)が忙しくて時間がないから」が47.1%と最も高かったが、平成22年度(67.1%)と比較すると20ポイント低下した。

【図表2-7：運動・スポーツをしなかった理由（全体比較）／複数回答（3つまで）】



※は平成27年度調査で追加した項目

(6) 運動・スポーツ活動の満足度

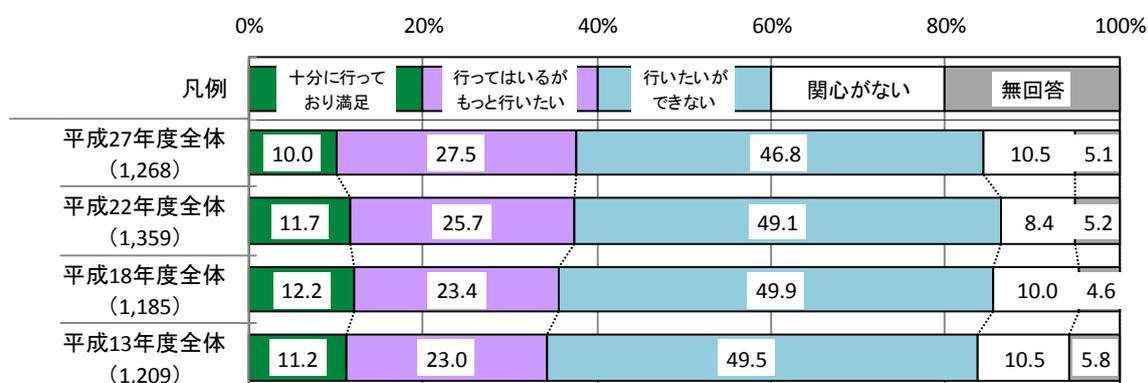
問4 あなたは、運動・スポーツについてどのようにお考えですか。あてはまる番号に、1つだけ○をつけてください。

- 1 運動・スポーツを十分に行っており、満足している
- 2 運動・スポーツを行ってはいるが、もっと行いたい
- 3 運動・スポーツを行いたいと思っはいるが、できない
- 4 運動・スポーツに関心がない

全員に運動・スポーツ活動の満足度をたずねたところ、「運動・スポーツを行いたいと思っはいるが、できない」が4割台半ば（46.8%）であり、「運動・スポーツを行ってはいるが、もっと行いたい」は3割弱（27.5%）であった。

《行いたい計（「運動・スポーツを行ってはいるが、もっと行いたい」＋「運動・スポーツを行いたいと思っはいるが、できない」）》は、7割台半ば（74.3%）であり、これまでの各年度の調査と大きな差はなかった。

【図表2－8：運動・スポーツ活動の満足度（全体比較）／単一回答】



(7) 今後(も)行いたい(行ってみたい)運動・スポーツ

ア 楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ

問5 あなたが、今後(も)行いたい(行ってみたい)運動・スポーツには何がありますか。

(1) 楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ (2) 野外活動等 (3) 競技として行うスポーツに分けて、回答してください。

(1) 楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ

あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- | | |
|---|--|
| 1 軽い球技(キャッチボール) | 8 ジョギング |
| 2 体操(縄跳びを含む) | 9 軽い水泳
(水中ウォーキングなどを含む) |
| 3 エアロビックダンス、ヨガ | 10 室内運動器具
(ダンベル・チューブなど)
を使ってする運動 |
| 4 ウォーキング(散歩などを含む) | 11 その他の軽い運動やスポーツ
(種目名) |
| 5 フォークダンス
(社交ダンス、民踊、
車いすダンスなどを含む) | 12 比較的軽い運動・スポーツには
関心がない |
| 6 ボウリング | |
| 7 ゲートボール、グラウンド・
ゴルフ | |

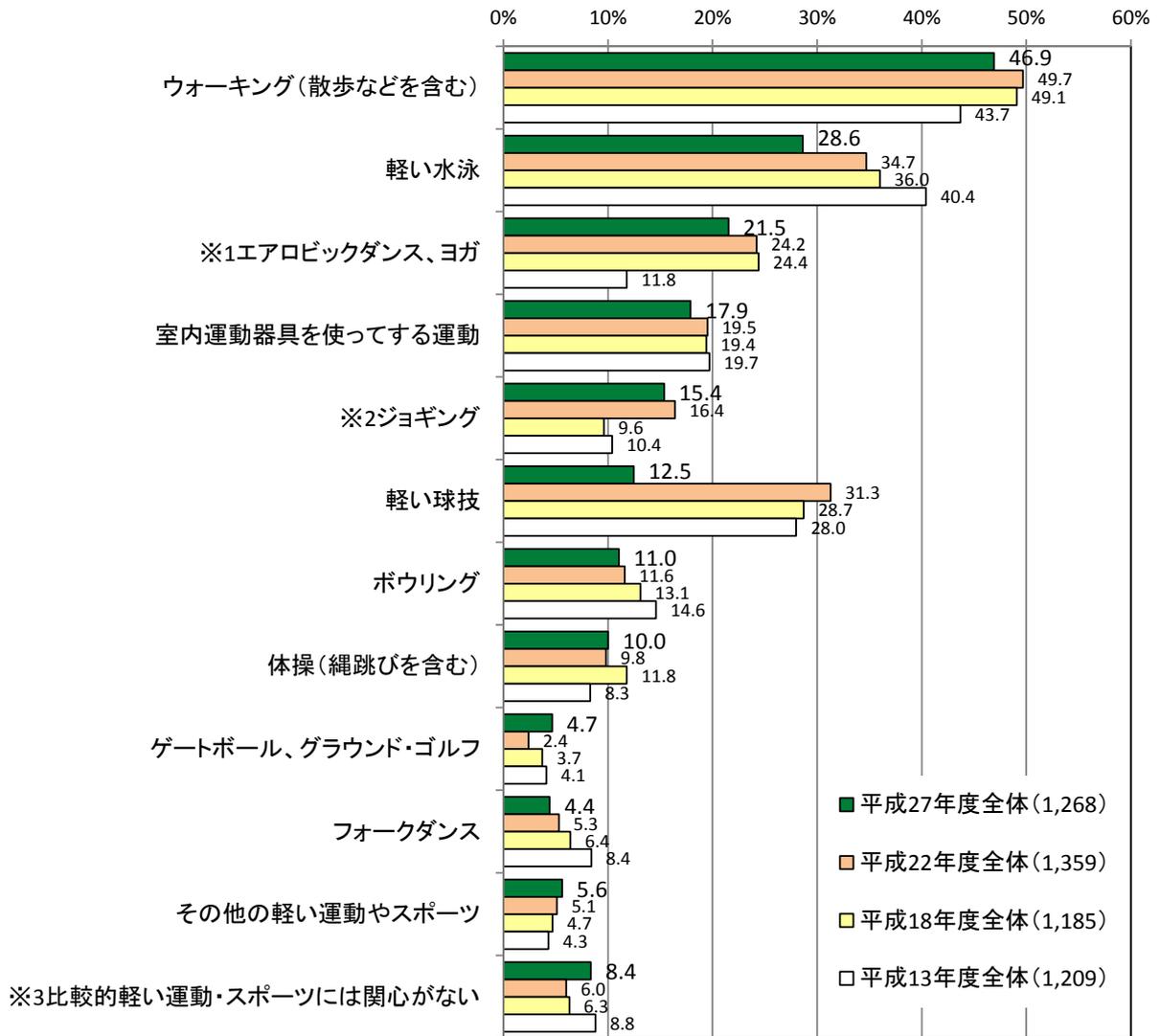
注) 「12 比較的軽い運動・スポーツには関心がない」は、平成22年度調査まで使用した選択肢「わからない」「ない」に替えて新設したもの

全員に、今後(も)行いたい(行ってみたい)運動やスポーツのうち【楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ】についてたずねたところ、「ウォーキング(散歩などを含む)」(46.9%)が最も高く、次いで「軽い水泳(水中ウォーキングなどを含む)」、「エアロビックダンス、ヨガ」となった。

「軽い球技(キャッチボール)」(12.5%)はこれまでの各年度の調査と比較すると15ポイント以上低下し、順位も平成22年度の3位から6位へと下がった。

図表、次ページ参照

【図表 2-9：《楽しみや比較的軽い運動として行うスポーツ》の実施意向（全体比較）／複数回答（3つまで）】



※1 は平成 13 年度調査では「エアロビックダンス（エアロビクス体操）」

※2 は平成 22 年度調査までは「ランニング（ジョギング）」

※3 は平成 22 年度調査までの「わからない」と「ない」のデータを合算してある

イ 野外活動等

(2) 野外活動等

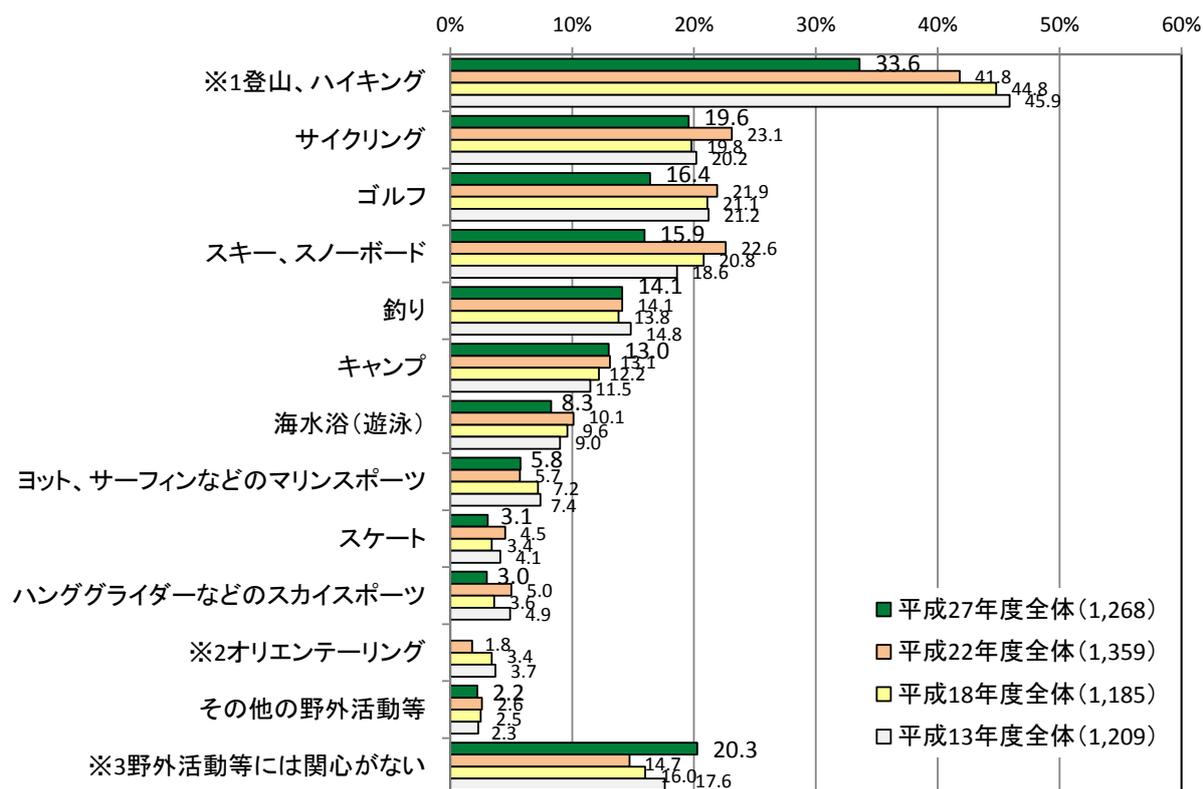
あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1 スキー、スノーボード | 7 ゴルフ |
| 2 海水浴（遊泳） | 8 ハングライダーなどスカイスポーツ |
| 3 スケート | 9 サイクリング |
| 4 登山、ハイキング | 10 釣り |
| 5 キャンプ | 11 その他の野外活動等 |
| 6 ヨット、サーフィンなどのマリンスポーツ | (種目名) |
| | 12 野外活動等には関心がない |

注) 「4 登山、ハイキング」は平成22年度調査までは別の選択肢、「オリエンテーリング」は平成22年度調査から削除
比較的軽い運動・スポーツには関心がない」は平成22年度調査まで使用した選択肢「わからない」「ない」に替えて新設

全員に【野外活動等】の実施意向をたずねたところ、「登山、ハイキング」(33.6%)が、平成13年度調査から継続して最も高かった。また、上位の「登山、ハイキング」、「サイクリング」、「ゴルフ」、「スキー、スノーボード」は、これまでの各年度の調査と比較すると、すべて低下した。

【図表2-10：《野外活動等》の実施意向（全体比較）／複数回答（3つまで）】



※1は平成22年度調査までは「ハイキング」と「登山」を合算してある

※2は平成27年度調査では削除

※3は平成22年度調査までの「わからない」と「ない」のデータを合算してある

ウ 競技として行うスポーツ

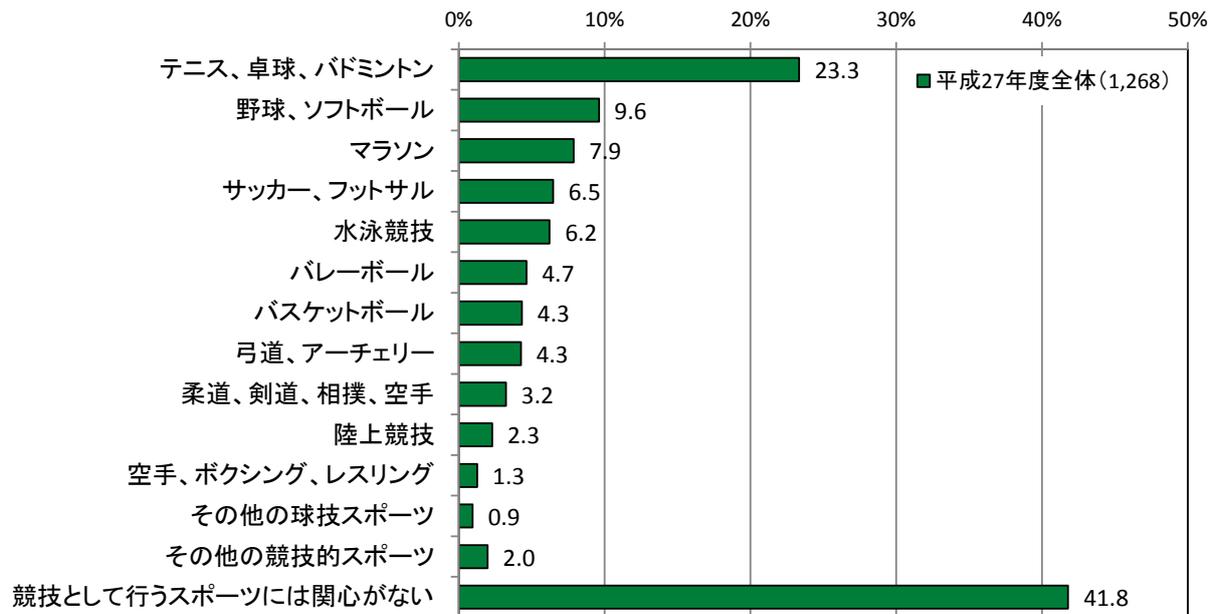
(3) 競技として行うスポーツ

あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1 陸上競技 | 10 テニス、卓球、バドミントン
(車いすテニス、サウンドテーブル
テニスなどを含む) |
| 2 マラソン | 11 バasketボール
(車いすバケットボールなどを含む) |
| 3 水泳競技 | 12 その他の球技スポーツ
(ラグビー、ハンドボールなど) |
| 4 柔道、剣道、相撲、空手 | 13 その他のスポーツ
(種目名) |
| 5 ボクシング、レスリング | 14 競技として行うスポーツには関心がない |
| 6 弓道、アーチェリー | |
| 7 野球、ソフトボール | |
| 8 サッカー、フットサル | |
| 9 バレーボール
(シットティングバレーボールなどを含む) | |

全員に、【競技として行うスポーツ】の実施意向をたずねたところ、「テニス、卓球、バドミントン(車いすテニス、サウンドテーブルテニスなどを含む)」(23.3%)が最も高く、次いで「野球、ソフトボール」(9.6%)、「マラソン」(7.9%)となった。ただし、「競技として行うスポーツに関心がない」が4割強(41.8%)であった。

【図表2-11：「競技として行うスポーツ」の実施意向(全体比較)／複数回答(3つまで)】



※平成27年度調査より選択肢を大幅に変更したため、単年度のみの掲載

3 スポーツ施設

(1) 公立スポーツ施設設置状況

問6 (1) 公立スポーツ施設（体育館、グラウンド、プール、テニスコート等）の設置状況は
 どうか。あてはまる番号に、1つだけ○をつけてください。

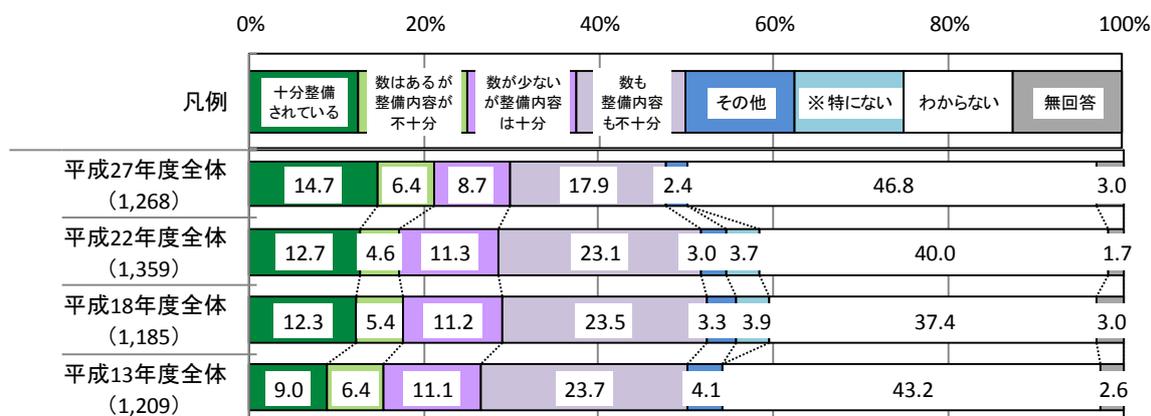
- 1 十分整備されている
- 2 施設の数はあるが、整備内容が不十分
- 3 施設の数が少ないが、整備内容は十分
- 4 施設の数も整備内容も不十分
- 5 その他 ()
- 6 わからない

注) 「特になし」は平成27年度調査から削除

全員に、公立スポーツ施設の設置状況についてたずねたところ、「施設の数も整備内容も不十分」(17.9%)が最も高く、次いで「十分整備されている」(14.7%)、「施設の数が少ないが、整備内容は十分」(8.7%)となった。ただし、「わからない」が4割台半ば(46.8%)と、ほぼ半数の人の意見が得られていない。

平成13年度から「十分整備されている」は、上昇を続け、「施設の数も整備内容も不十分」は低下を続けている。

【図表3-1：スポーツ施設設置状況（全体比較）／単一回答】



※は平成27年度調査では削除

(2) 公立スポーツ施設への要望

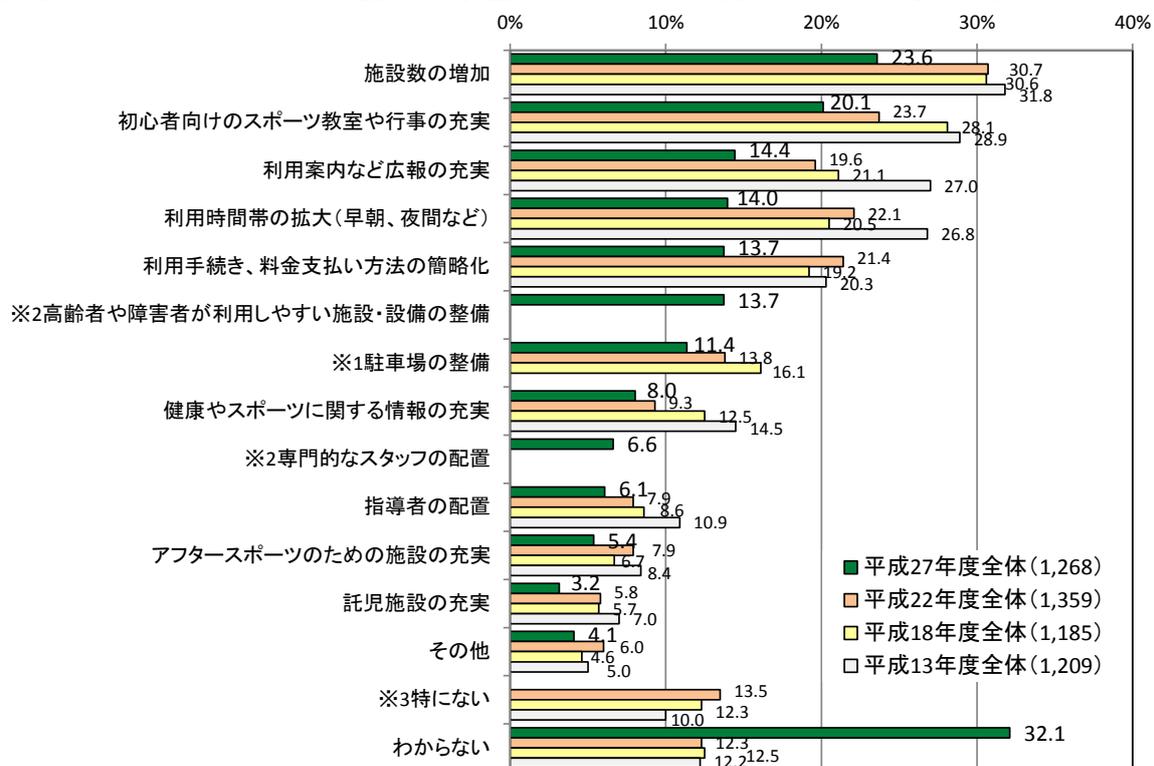
問6 (2) 公立スポーツ施設（体育館、グラウンド、プール、テニスコート等）に対して要望等がありますか。あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- 1 施設数の上昇
- 2 指導者の配置
- 3 専門的なスタッフの配置
- 4 初心者向けのスポーツ教室やスポーツ行事の充実
- 5 利用手続き、料金支払い方法の簡略化
- 6 利用時間帯の拡大（早朝、夜間など）
- 7 利用案内など広報の充実
- 8 アフタースポーツのための施設（レストランなど）の充実
- 9 高齢者や障害者が利用しやすい施設・設備の整備
- 10 健康やスポーツに関する情報の充実
- 11 託児施設の充実
- 12 駐車場の整備
- 13 その他（ ）
- 14 わからない

注) 「3 専門的なスタッフの配置」「9 高齢者や障害者が利用しやすい施設・設備の整備」は平成27年度調査から追加
「特にない」は平成27年度調査から削除

全員に、公立スポーツ施設への要望をたずねたところ、「施設数の上昇」(23.6%)が、平成22年度調査より低下(7.1ポイント)したが、依然として最も高い。また、他のほとんどの項目でも、低下がみられた。平成27年度調査より追加の項目は「高齢者や障害者が利用しやすい施設・設備の整備」が13.7%、「専門的なスタッフの配置」が6.6%だった。

【図表3-2：公共スポーツ施設への要望（全体比較）／複数回答（3つまで）】



※1 は平成 18 年度調査で追加した項目

※2 は平成 27 年度調査で追加した項目

※3 は平成 27 年度調査で削除した項目

(3) 学校の体育施設利用状況

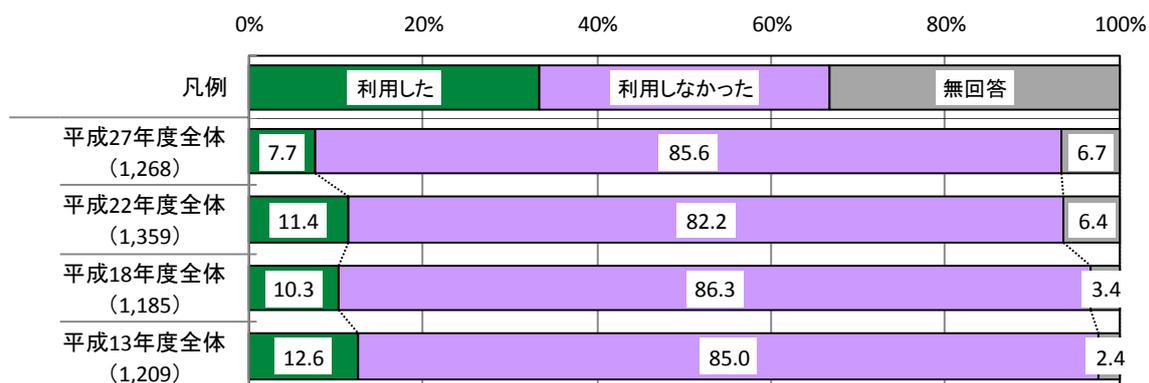
問6 (3) この1年間で、学校の体育施設（運動場、体育館、プールなど）を、運動やスポーツの目的のために利用しましたか。（学校主催による運動会への参加は除きます）

1 利用した →問6(5)へ 2 利用しなかった →問6(4)(5)へ

全員に、この1年間の学校の体育施設利用状況をたずねたところ、「利用した」は7.7%、「利用しなかった」は85.6%であった。

「利用した」（7.7%）は、これまでの各年度の調査と比較すると最も低かった。

【図表3-3：学校の体育施設利用状況（全体比較）／単一回答】



(4) 学校の体育施設を利用しなかった理由

問6 (4) 利用しなかった理由は何ですか。あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

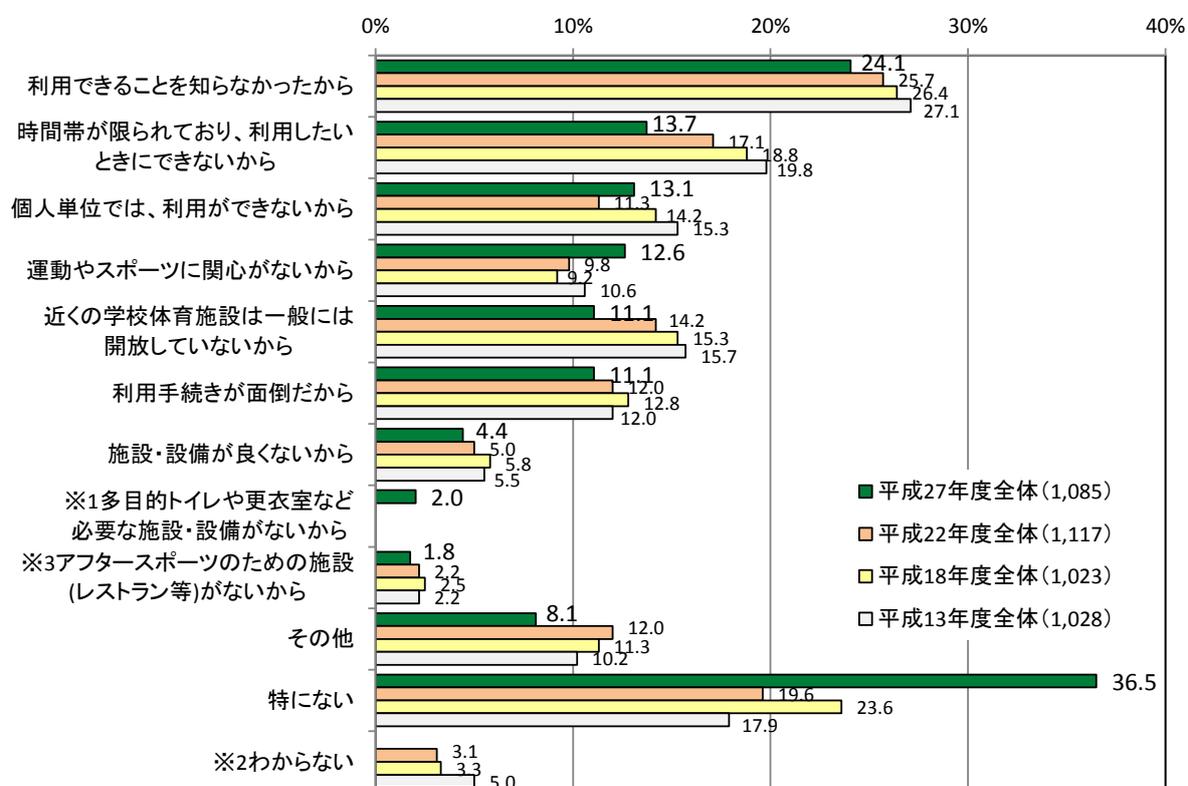
- 1 運動やスポーツに関心がないから
- 2 近くの学校体育施設は一般には開放していないから
- 3 利用できることを知らなかったから
- 4 施設・設備が良くないから
- 5 多目的トイレや更衣室など必要な施設・設備がないから
- 6 個人単位では、利用ができないから
- 7 時間帯が限られており、利用したいときにできないから
- 8 利用手続きが面倒だから
- 9 アフタースポーツのための施設（レストラン等）がないから
- 10 特にない
- 11 その他（ ）

注) 「5 多目的トイレや更衣室など必要な施設・設備がないから」は平成27年度調査から追加、「わからない」は削除
 「9 アフタースポーツのための施設（レストラン等）がないから」は平成22年度調査までは別の選択肢

【問6(3)】で2と答えた人(1,085人)に、この1年間に学校の体育施設を利用しなかった理由をたずねたところ、「利用できることを知らなかったから」(24.1%)が最も高く、次いで「時間帯が限られており利用できないから」(13.7%)で、ともに平成13年度以降、低下が続いている。

なお、「特にない」(36.5%)をこれまでの各年度の調査と比較すると、いずれも12.9ポイント以上、上昇した。

【図表3-4：学校の体育施設を利用しなかった理由（全体比較）／複数回答（3つまで）】



※1は平成27年度調査で追加した項目

※2は平成27年度調査で削除した項目

※3は平成22年度調査までは「スポーツをした後のいこいの場がないから」

4 県のスポーツ施策

※平成27年度調査より実施（ただし「総合型地域スポーツクラブ」の認知については、平成22年度より実施

(1) 「総合型地域スポーツクラブ」の認知

問7 「総合型地域スポーツクラブ」※について知っていますか。1つだけ○をつけてください。

※ 「総合型地域スポーツクラブ」とは、地域住民が主体となって運営する多種目・多世代・多志向型のスポーツクラブのことを指します。

- 1 仕組みや特徴も含め、よく知っている
- 2 県内や地域に総合型スポーツクラブがあることは知っている
- 3 総合型地域スポーツクラブという言葉聞いたことがある
- 4 知らない

全員に、総合型地域スポーツクラブについて知っているかたずねたところ、「知らない」が8割台半ば（84.3%）であった。なお、《認知計（「仕組みや特徴も含め、よく知っている」＋「県内や地域に総合型スポーツクラブがあることは知っている」＋「総合型地域スポーツクラブという言葉聞いたことがある」）》は、13.3%であった。

【図表4-1：「総合型地域スポーツクラブ」の認知（全体）／単一回答】



※平成27年度調査より選択肢を変更したため、単年度のみの掲載



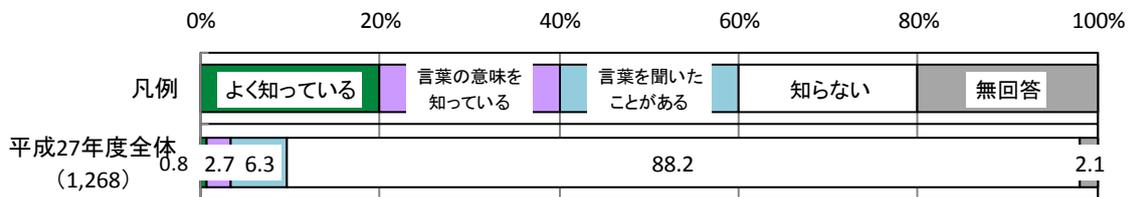
(2) 「3033 (サマルサッサン) 運動」の認知

問8 (1) 「3033 (サマルサッサン) 運動」※について知っていますか。1つだけ○をつけてください。
 ※ 1日30分、週3回、3ヶ月間継続して運動やスポーツを行い、運動やスポーツをくらしの一部として習慣化することを、「3033 (サマルサッサン) 運動」といいます。

- 1 内容や効果について、よく知っている
- 2 「3033運動」という言葉の意味を知っている
- 3 「3033運動」という言葉は聞いたことがある
- 4 知らない → 問9(1)へ

全員に、「3033運動」について知っているかたずねたところ、「知らない」が9割弱(88.2%)であった。なお、《認知計(「内容や効果について、よく知っている」+「3033運動」という言葉の意味を知っている)+「3033運動」という言葉は聞いたことがある)》は、約1割(9.8%)であった。

【図表4-2: 「3033運動」の認知(全体)／単一回答】



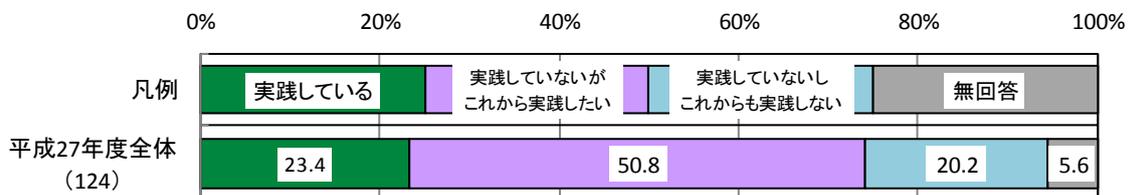
(3) 「3033 (サマルサッサン) 運動」の実践

問8 (2) 「3033 (サマルサッサン) 運動」を実践していますか。1つだけ○をつけてください。

- 1 実践している
- 2 実践していないが、これから実践したい
- 3 実践していないし、これからも実践するつもりはない

[問8(1)]で1または2または3と答えた人(124人)に、「3033運動」を実践しているかたずねたところ、「実践している」は23.4%だった。なお、「実践していないが、これから実践したい」が約5割(50.8%)と最も高かった。

【図表4-3: 「3033運動」の実践(全体)／単一回答】



(4) 「県民スポーツ週間」の認知

問9 (1) 「県民スポーツ週間」について知っていますか。1つだけ○をつけてください。

- 1 時期や内容について、よく知っている
- 2 「県民スポーツ週間」という言葉は知っている (聞いたことはある)
- 3 知らない → 問10へ

全員に「県民スポーツ週間」について知っているかたずねたところ、「知らない」が9割弱(87.2%)であった。なお、《認知計(「時期や内容について、よく知っている」+「県民スポーツ週間」という言葉は知っている(聞いたことはある)》は、約1割(10.6%)であった。

【図表4-4: 「県民スポーツ週間」の認知(全体) / 単一回答】



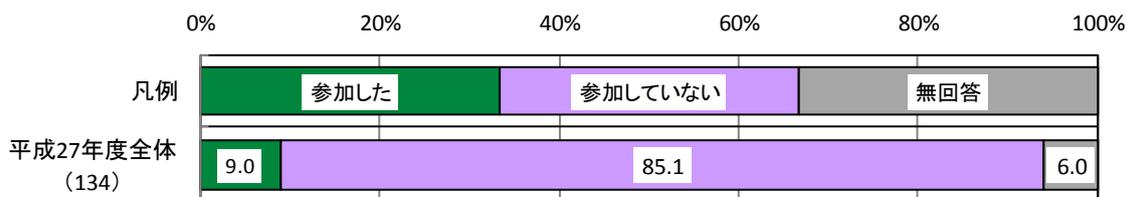
(5) 「県民スポーツ週間」への参加状況

問9 (2) 「県民スポーツ週間」のイベントに参加しましたか。

- 1 参加した
- 2 参加していない → 問10へ

[問9(1)]で1または2と答えた人(134人)に「県民スポーツ週間」への参加状況をたずねたところ、「参加した」が9.0%。「参加していない」が85.1%であった。

【図表4-5: 「県民スポーツ週間」への参加状況(全体) / 単一回答】



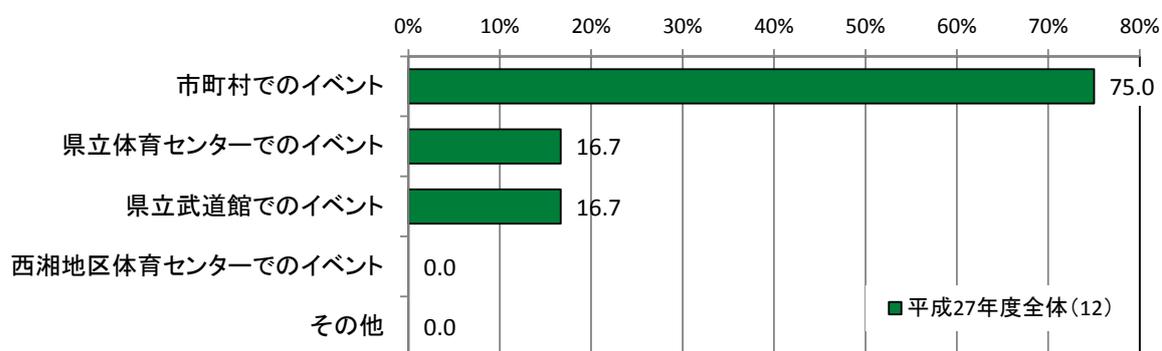
(6) 「県民スポーツ週間」参加経験イベント

問9 (3) どのイベントに参加しましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 県立体育センターでのイベント
- 2 西湘地区体育センターでのイベント
- 3 県立武道館でのイベント
- 4 市町村でのイベント
- 5 その他 ()

[問9(1)]で1または2と答えた人(12人)に「県民スポーツ週間」で参加したイベントをたずねたところ、「市町村でのイベント」が75.0%で、7割台半ばの人が身近なイベントへ参加しているという結果であった。※回答者数が少ないため参考値とする。

【図表4-6：「県民スポーツ週間」参加経験イベント(全体)／複数回答】



5 スポーツ全般についての意見

(1) 運動・スポーツ関連情報ニーズ

問10 運動やスポーツに関する情報のうちどのような情報が欲しいと思いますか。あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- 1 スポーツ行事やスポーツイベントの情報
- 2 自分が参加できるスポーツ競技会の情報
- 3 高齢者や障害者が参加しやすいイベントや教室の情報
- 4 各種スポーツ教室の案内
- 5 スポーツ施設の案内
- 6 各種スポーツ指導者の紹介
- 7 新しいスポーツ、気軽にできるスポーツなどの情報
- 8 クラブ同好会などの活動案内
- 9 健康・体力づくり情報
- 10 スポーツに関する医学的・科学的情報
- 11 その他 ()
- 12 特にない

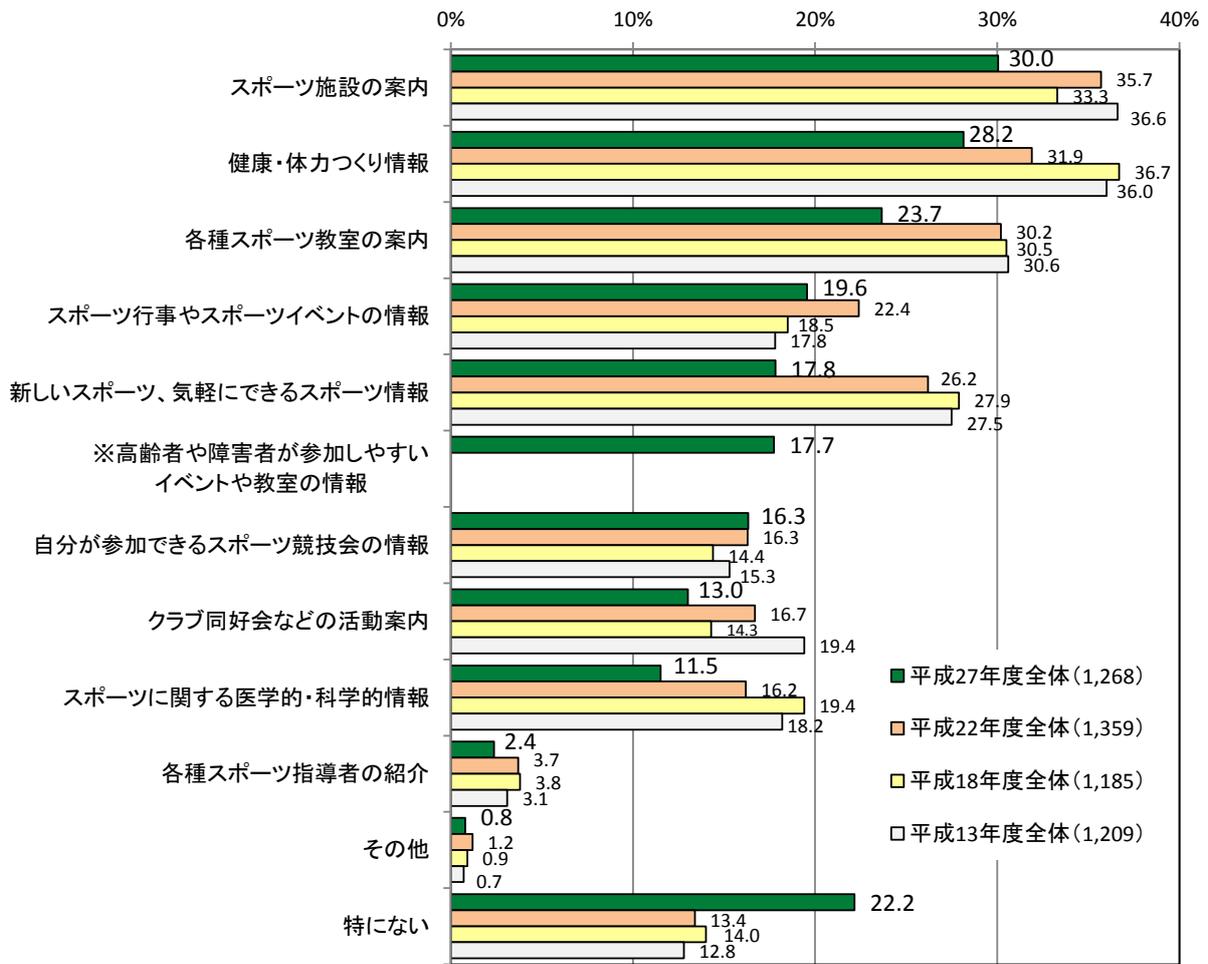
注) 「3 高齢者や障害者が参加しやすいイベントや教室の情報」は平成27年度調査から追加

全員に、運動やスポーツに関する欲しい情報についてたずねたところ、「スポーツ施設の案内」(30.0%)が最も高く、次いで「健康・体力づくり情報」(28.2%)、「各種スポーツ教室の案内」(23.7%)の順となった。この上位の順位は平成13年度から同様だが、すべてにおいて低下した。

平成22年度と比較すると、「スポーツ行事やスポーツイベントの情報」と「新しいスポーツ、気軽にできるスポーツ情報」において順位が入れ替わっている。

図表、次ページ参照

【図表5-1：運動・スポーツ関連ニーズ（全体比較）／複数回答（3つまで）】



※は平成27年度調査で追加した項目

(2) 運動・スポーツ行事・教室について

ア 県・市町村のスポーツ行事参加状況

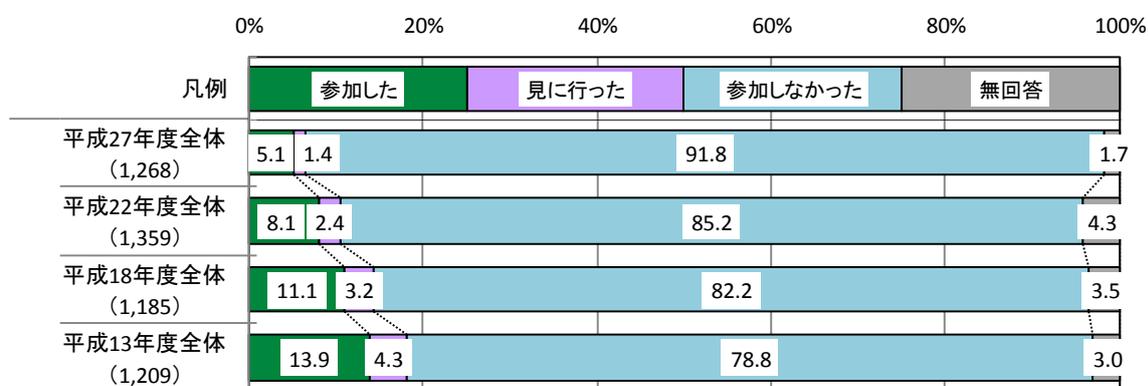
問11 (1) この1年間に県や市町村が主催するスポーツ行事に参加したことがありますか。また、参加したスポーツ行事は何ですか。1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------|--------------|
| 1 参加した | →参加した行事 () |
| 2 見に行った | →見に行った行事 () |
| 3 参加しなかった | |

全員に、この1年間の県や市町村が主催するスポーツ行事への参加状況をたずねたところ、「参加しなかった」が9割強(91.8%)と最も高く、次いで「参加した」(5.1%)、「見に行った」(1.4%)の順となった。

平成22年度と比較すると、「参加した」は低下(3.0ポイント)し、平成13年度以降、低下し続けている。

【図表5-2：県・市町村のスポーツ行事参加状況(全体比較)／単一回答】



イ 県・市町村主催のスポーツ教室参加状況

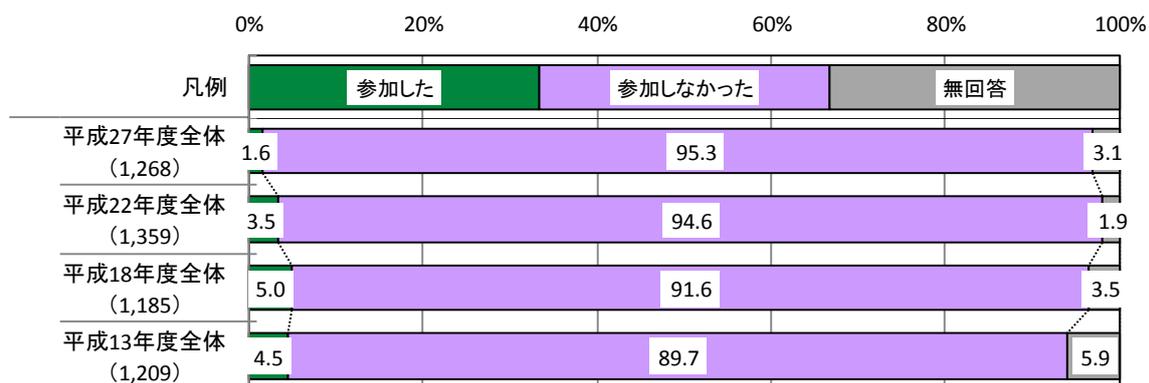
問11（2） この1年間に県や市町村が主催するスポーツ教室に参加したことがありますか。また、参加したスポーツ種目は何ですか。

- 1 参加した →参加した種目（ ）
 2 参加しなかった

全員に、この1年間の県や市町村が主催するスポーツ教室への参加状況をたずねたところ、「参加しなかった」が95.3%、「参加した」が1.6%であった。

平成22年度と比較すると、大きな差はみられなかった。

【図表5-3：県・市町村主催のスポーツ教室参加状況（全体比較）／単一回答】



(3) 運動やスポーツのクラブ・同好会について

ア 運動やスポーツのクラブ・同好会への加入状況

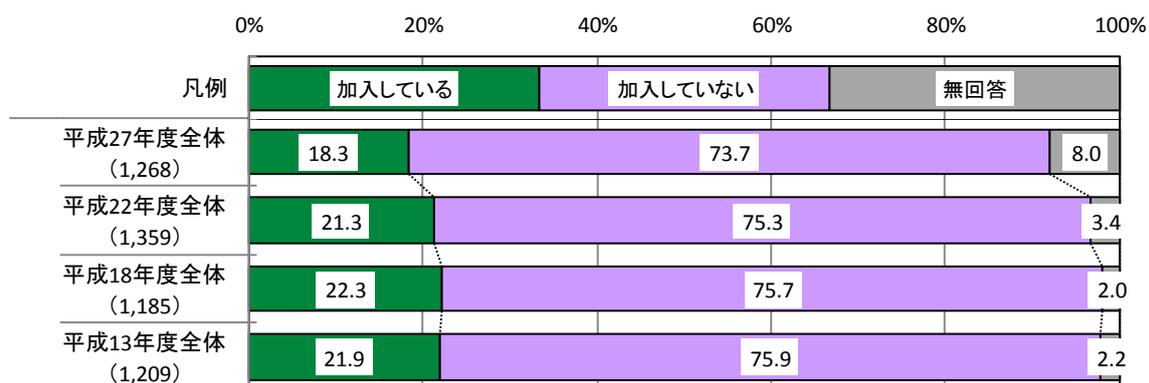
問12(1) 現在、運動やスポーツのクラブ・同好会に加入していますか。

1 加入している →問12(2)(3)(4)へ 2 加入していない →問12(5)へ

全員に、運動やスポーツのクラブ・同好会への加入状況をたずねたところ、「加入していない」が7割台半ば(73.7%)であった。なお、「加入している」は2割弱(18.3%)であった。

平成22年度と比較すると、「加入している」は低下(3.0ポイント)し、平成18年度以降、低下し続けている。

【図表5-5：運動やスポーツのクラブ・同好会への加入状況(全体比較)／単一回答】



イ 加入している運動やスポーツのクラブ・同好会の種類

問12(2) 加入しているクラブ・同好会は、どのようなものですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

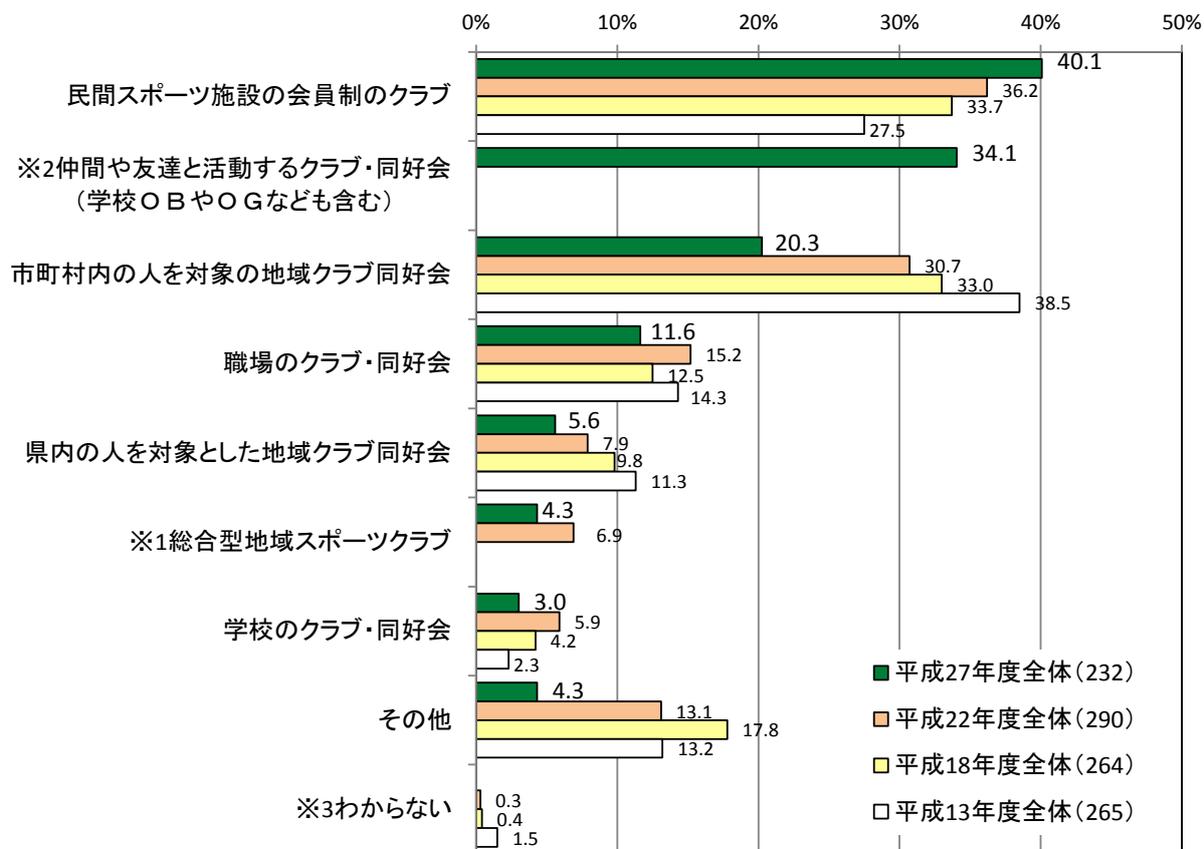
- 1 職場のクラブ・同好会
- 2 学校のクラブ・同好会
- 3 仲間や友達と活動するクラブ・同好会（学校OBやOGなども含む）
- 4 県内の人を対象とした地域クラブ・同好会
- 5 市町村内の人を対象とした地域クラブ・同好会
- 6 総合型地域スポーツクラブ
- 7 民間スポーツ施設の会員制のクラブ
- 8 その他（ ）

注) 「3 仲間や友達と活動するクラブ・同好会（学校OBやOGなども含む）」は平成27年度調査から追加、
「わからない」は平成27年度調査から削除

[問12(1)]で1と答えた人(232人)に、加入している運動やスポーツのクラブ・同好会についてたずねたところ、「民間スポーツ施設の会員制のクラブ」(40.1%)が最も高く、平成22年度より3.9ポイント上昇し、平成13年度以降、同様の傾向が続いている。

平成22年度と比較すると、「市町村内の人を対象とした地域クラブや同好会」は低下(10.4ポイント)した。

【図表5-6：加入している運動やスポーツのクラブ・同好会（全体比較）／複数回答】



※1は平成22年度調査から追加した項目

※2は平成27年度調査で追加した項目

※3は平成27年度調査で削除した項目

ウ 運動やスポーツのクラブ・同好会への加入動機及び目的

問12(4) クラブ・同好会に加入した動機や目的は何ですか。あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

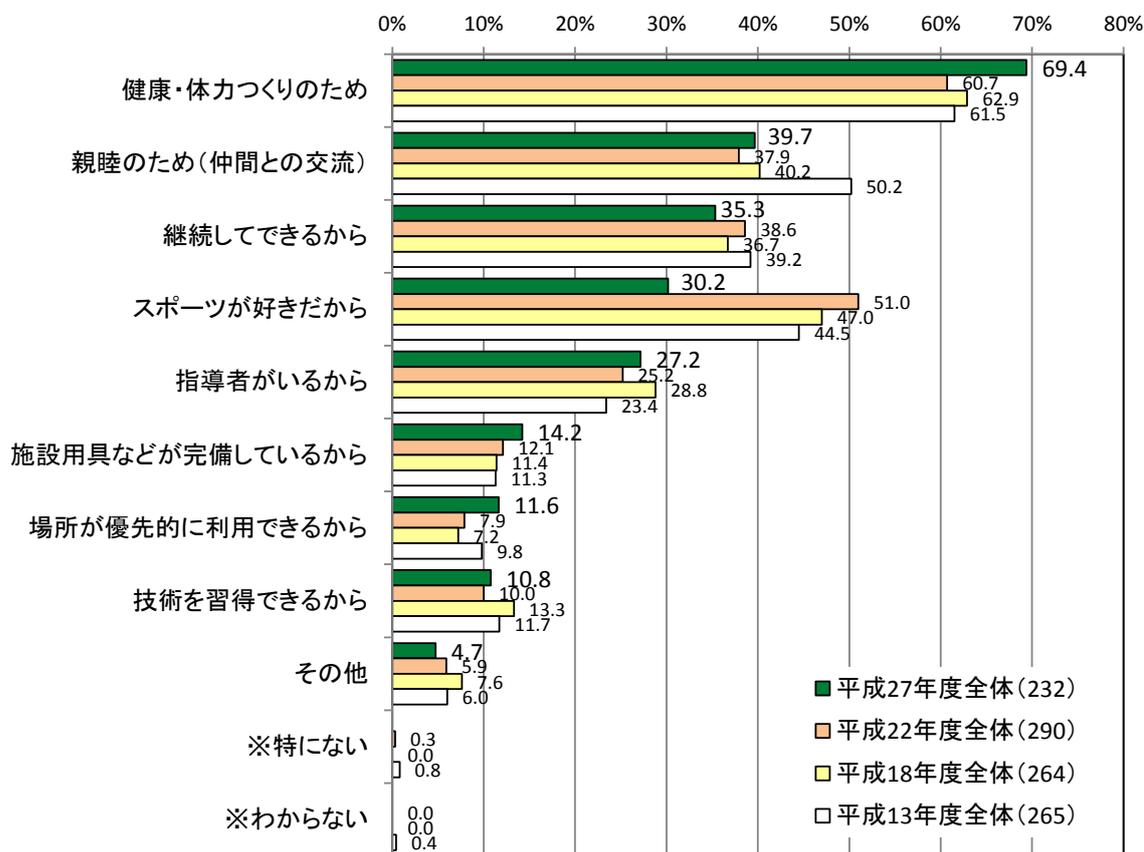
- | | |
|-------------------|---------------|
| 1 継続してできるから | 6 健康・体力づくりのため |
| 2 場所が優先的に利用できるから | 7 スポーツが好きだから |
| 3 施設用具などが完備しているから | 8 技術を習得できるから |
| 4 指導者がいるから | 9 その他 () |
| 5 親睦のため(仲間との交流) | |

注) 「特にない」「わからない」は平成27年度調査から削除

[問12(1)]で1と答えた人(232人)に、そのクラブ・同好会に加入した動機や目的についてたずねたところ、「健康・体力づくりのため」(69.4%)が最も高く、平成22年度からは8.7ポイント上昇し、平成13年度から引き続き最も高い結果となった。

他の項目について平成22年度と比較すると、「スポーツが好きだから」が低下(20.8ポイント)した。

【図表5-7：運動やスポーツのクラブ・同好会への加入動機・目的(全体比較)／複数回答(3つまで)】



※は平成27年度調査で削除した項目

エ 現非加入者の今後の加入意向

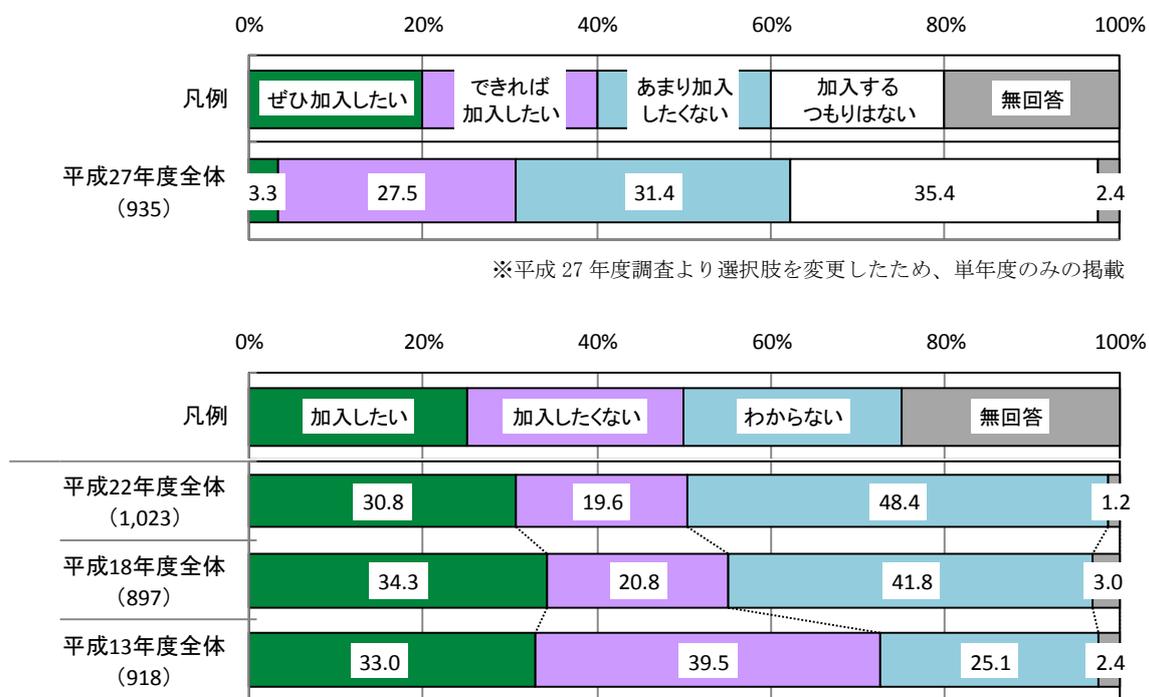
問12(5) 好きな運動やスポーツのクラブ、同好会があれば、加入したいと思いますか。1つだけ○をつけてください。

1 ぜひ加入したい	<input type="checkbox"/>	→ 問12(6)へ
2 できれば加入したい	<input type="checkbox"/>	
3 あまり加入したくない	<input type="checkbox"/>	→ 問13(1)へ
4 加入するつもりはない	<input type="checkbox"/>	

注) 平成22年度調査までは「加入したい」「加入したくない」「わからない」の3つの選択肢であったが、平成27年度は4つの選択肢とした

[問12(1)]で2と答えた人(935人)に、好きな運動やスポーツのクラブ・同好会への加入意向をたずねたところ、《加入したい計(「ぜひ加入したい」+「できれば加入したい」)》が30.8%、《加入したくない計(「あまり加入したくない」+「加入するつもりはない」)》が66.8%であった。

【図表5-8：現非加入者の今後の加入意向(全体比較)／単一回答】



ウ 希望するスポーツ観戦レベル

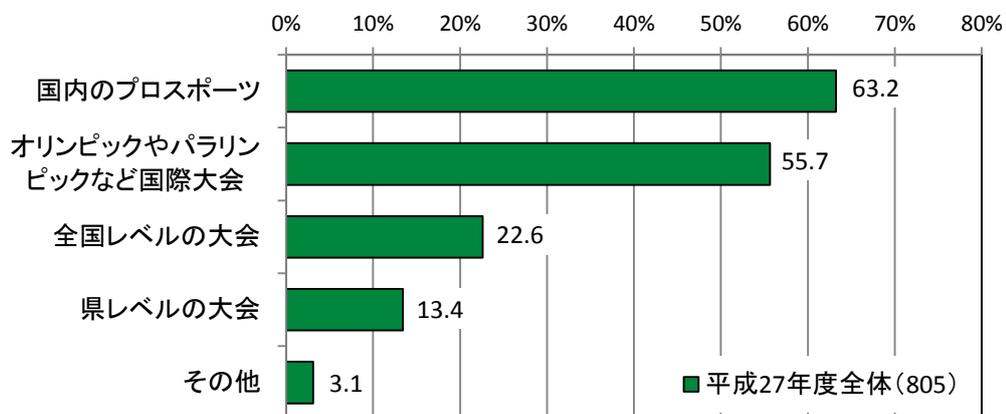
問13（3） 直接会場へ行ってスポーツ観戦をしたらどのようなレベルの観戦をしたいですか。あてはまる番号に、2つまで○をつけてください。

- 1 オリンピックやパラリンピックなど国際大会
- 2 国内のプロスポーツ
- 3 全国レベルの大会
- 4 県レベルの大会
- 5 その他（ ）

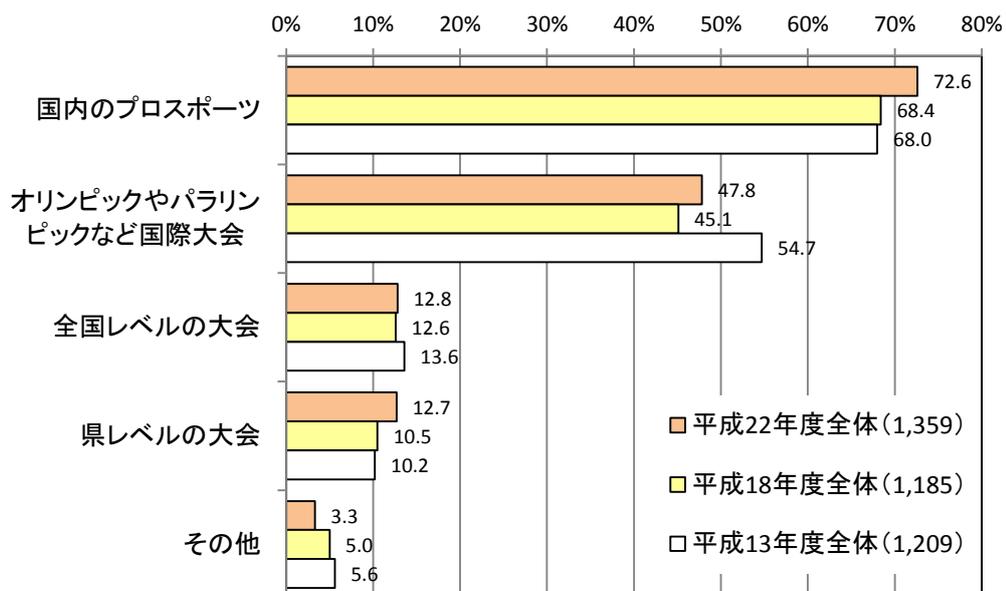
注) 「問13（3）希望するスポーツ観戦レベル」に関する設問は、平成27年度調査から、問13（1）で「関心がある」と回答した方のみを設定

[問13(1)]で1と答えた人(805人)に、会場で直接スポーツ観戦をしたいレベルについてたずねたところ、「国内のプロスポーツ」(63.2%)が最も高く、次いで「オリンピックやパラリンピックなど国際大会」(55.7%)となった。

【図表5-12：希望するスポーツ観戦レベル（全体比較）／複数回答（2つまで）】



※平成27年度調査より該当者を変更したため、単年度のみ掲載



※平成22年度調査までは、全員に回答を求めている

エ 希望するスポーツ観戦競技

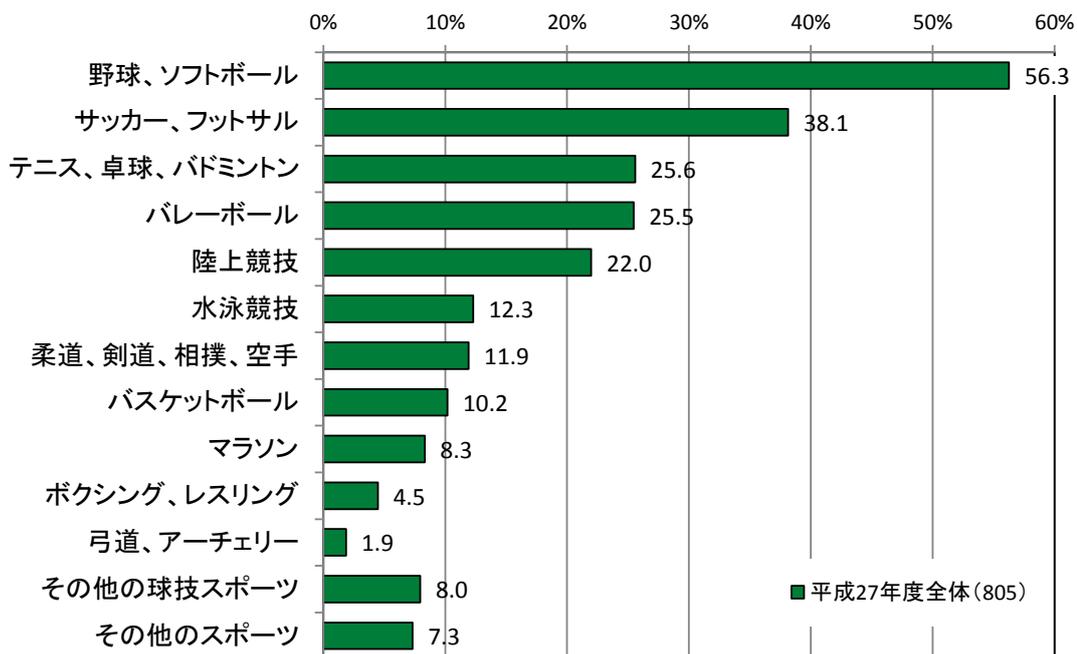
問13 (4) 直接会場へ行ってスポーツ観戦をするとしたらどのような競技を観戦したいですか。あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1 陸上競技 | 9 バレーボール
(シッティングバレーボールなどを含む) |
| 2 マラソン | 10 テニス、卓球、バドミントン
(車いすテニス、サウンドテーブル
テニスなどを含む) |
| 3 水泳競技 | 11 バasketボール
(車いすバケットボールなどを含む) |
| 4 柔道、剣道、相撲、空手 | 12 その他の球技スポーツ
(ラグビー、ハンドボールなど) |
| 5 ボクシング、レスリング | 13 その他のスポーツ (種目名) |
| 6 弓道、アーチェリー | |
| 7 野球、ソフトボール | |
| 8 サッカー、フットサル
(ブラインドサッカーなどを含む) | |

注) 「問13 (4) 希望するスポーツ観戦競技」に関する設問は、平成27年度調査から追加

[問13(1)]で1と答えた人(805人)に、会場で直接スポーツ観戦を行った競技についてたずねたところ、「野球、ソフトボール」(56.3%)が最も高く、次いで「サッカー、フットサル(ブラインドサッカーなどを含む)」(38.1%)、「テニス、卓球、バドミントン(車いすテニス、サウンドテーブル)」(25.6%)となった。

【図表5-13: 希望するスポーツ観戦競技(全体) / 複数回答(3つまで)】



(5) スポーツに関するボランティア活動について

※平成18年度調査より実施

ア スポーツに関するボランティア活動経験

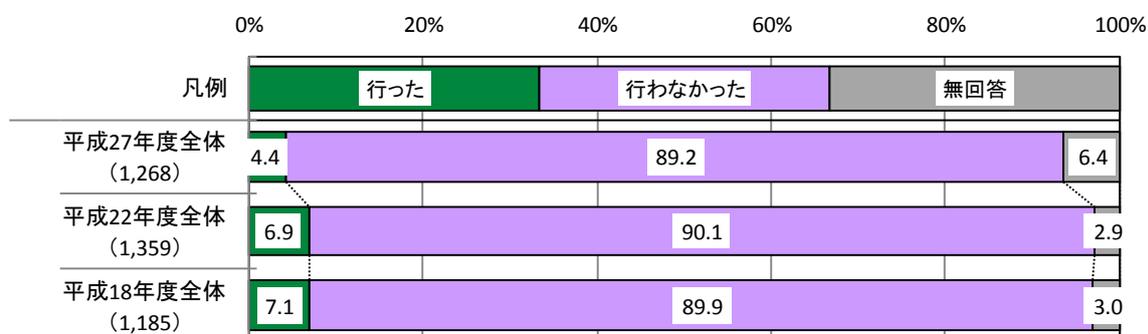
問14(1) この1年間にスポーツの指導や、イベントへの協力などスポーツに関するボランティア活動を行いましたか。

1 行った →問14(2)(3)へ 2 行わなかった →問14(3)へ

全員に、この1年間のスポーツに関するボランティア活動の経験をたずねたところ、「ボランティア活動は行わなかった」が約9割(89.2%)であった。なお「ボランティア活動を行った」は、4.4%であった。

これまでの各年度の調査と比較して「行った」及び「行わなかった」に、大きな差はみられなかった。

【図表5-14：スポーツに関するボランティア活動経験（全体比較）／単一回答】



イ スポーツに関するボランティア活動の内容

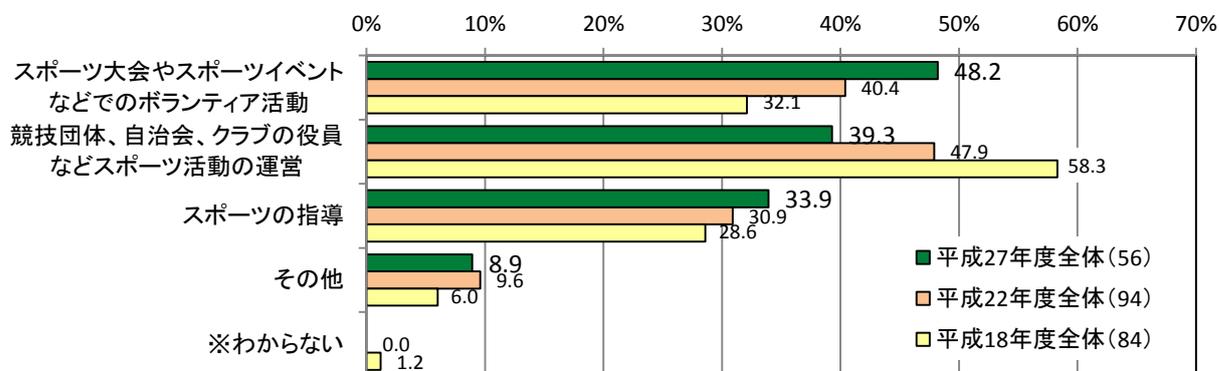
問14(2) 行ったボランティア活動はどのようなものですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|--|
| <p>1 スポーツの指導</p> <p>2 競技団体、自治会、クラブの役員
などスポーツ活動の運営</p> | <p>3 スポーツ大会やスポーツイベント
などでのボランティア活動</p> <p>4 その他 ()</p> |
|---|--|

注) 「わからない」は、平成27年度調査から削除

[問14(1)]で1と答えた人(56人)に、ボランティア活動の内容をたずねたところ、「スポーツ大会やスポーツイベントなどでのボランティア活動」(48.2%)が最も高く、平成22年度調査より上昇(7.8ポイント)して2位から1位となった。「競技団体、自治会、クラブの役員などスポーツ活動の運営」(39.3%)は平成22年度調査より低下(8.6ポイント)し、1位から2位となった。

【図表5-15：1年間に行ったスポーツに関するボランティア活動(全体比較)／複数回答】



※平成27年度調査で削除した項目

ウ スポーツに関するボランティア活動への今後の参加意向

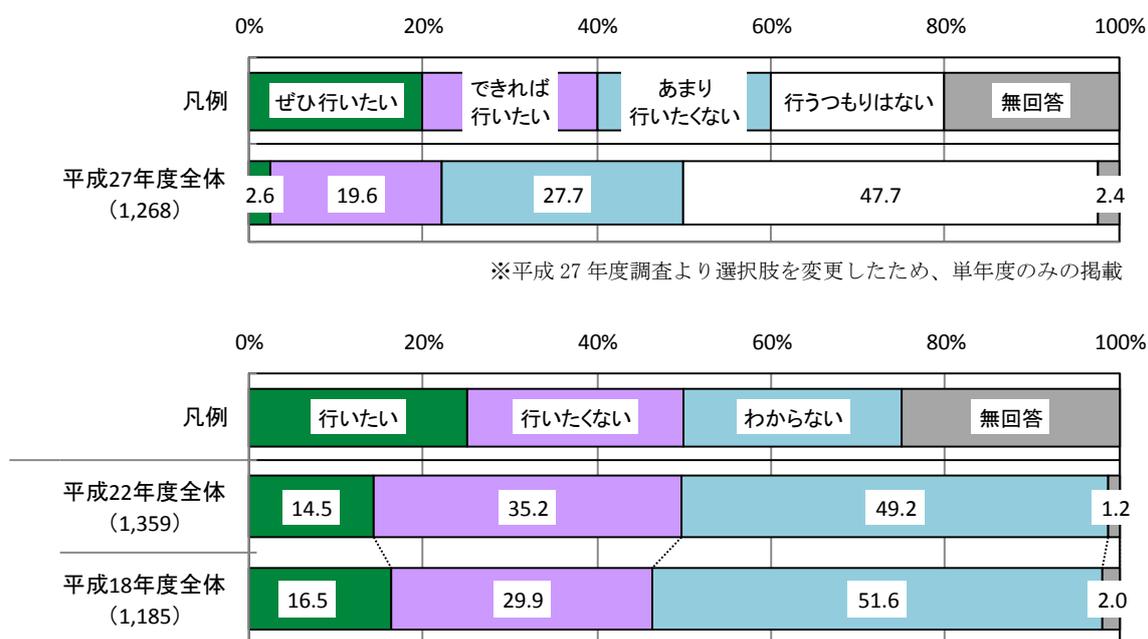
問 14 (3) 今後、あなたは、スポーツに関するボランティア活動を行いたいと思いますか。 1
つだけ〇をつけてください。

- | | |
|------------|-------------|
| 1 ぜひ行いたい | 3 あまり行いたくない |
| 2 できれば行いたい | 4 行うつもりはない |

注) 平成27年度調査「行いたい」「行いたくない」「わからない」から、4段階評価へ変更

全員に、今後のスポーツに関するボランティア活動への参加意向をたずねたところ、《行いたい計（「ぜひ行いたい」+「できれば行いたい」）》が22.2%、《行いたくない計（「あまり行いたくない」+「行うつもりはない」）》は75.4%であった。

【図表 5-16：スポーツに関するボランティア活動への今後の参加意向（全体比較）／単一回答】



(6) 地域のスポーツ振興について

ア 地域のスポーツ振興に期待する効果

問15 (1) 自治会や町内会で行う地域のスポーツ振興にどのような効果を期待しますか。あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 親子や家族の交流 | 7 地域の健康水準の改善 |
| 2 自由時間の有効活用 | 8 スポーツ施設の有効利用 |
| 3 地域のコミュニティの形成 | 9 その他 () |
| 4 世代間交流の促進 | 10 特にない |
| 5 青少年の健全育成 | 11 わからない |
| 6 生きがいがづくり | |

注) 「2 自由時間の有効活用」は、平成22年度調査までは「余暇時間の有効活用」

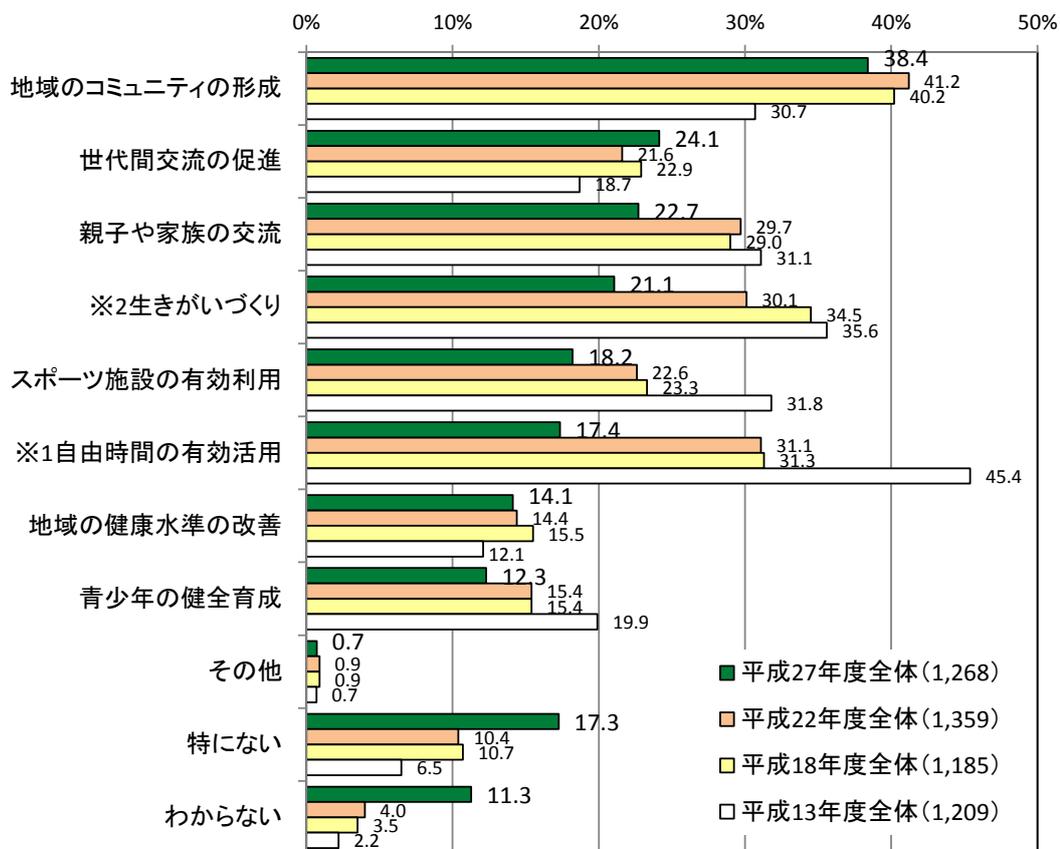
「6 生きがいがづくり」は、平成22年度調査までは「高齢者の生きがいがづくり」

全員に、地域のスポーツ振興に期待する効果をたずねたところ、「地域コミュニティの形成」(38.4%)が最も高く、次いで「世代間交流の促進」(24.1%)、「親子や家族の交流」(22.7%)となった。

「地域コミュニティの形成」は、平成18年度から引き続き最も高い結果となった。

「自由時間の有効活用」は、平成22年度と比較すると低下(13.7ポイント)しており、順位の変化がみられた。

【図表5-17: 地域のスポーツ振興に期待する効果(全体比較) / 複数回答(3つまで)】



※1は平成22年度調査までは「余暇時間の有効活用」

※2は平成22年度調査までは「高齢者の生きがいがづくり」

イ 県の取組みへの要望

問15 (2) スポーツ振興を図るために、県は今後どのような取組みをすべきだと思いますか。
あてはまる番号に、3つまで○をつけてください。

- 1 各種スポーツ行事・大会・教室の開催
- 2 地域のクラブやサークルの育成
- 3 総合型地域スポーツクラブの育成・支援
- 4 スポーツ指導者の養成
- 5 スポーツに関する広報活動
- 6 学校体育施設の開放・整備
- 7 各種スポーツ施設の整備
- 8 スポーツボランティアの支援
- 9 年齢や障害に応じたスポーツの開発・普及
- 10 公共スポーツ施設における健康・体力相談体制の整備
- 11 ジョギングなどができる道路整備
- 12 手軽にスポーツができる公園整備
- 13 ジュニアアスリートの発掘・育成
- 14 トップアスリートの育成
- 15 子どもの体力向上のための取組み
- 16 中高齢者の健康増進のための取組み
- 17 未病(※)を治すための取組み
- 18 その他 ()
- 19 特にない
- 20 わからない

※ 人の健康状態は、健康、病気と明確に区分するのではなく、健康と病気の間で連続的に変化しているものであり、その状態を「未病」といいます。

注) 「7 各種スポーツ施設の整備」は平成22年度調査までは、「野外スポーツ活動施設の整備」「野外を除く各種スポーツ施設の設備」の2つの選択肢

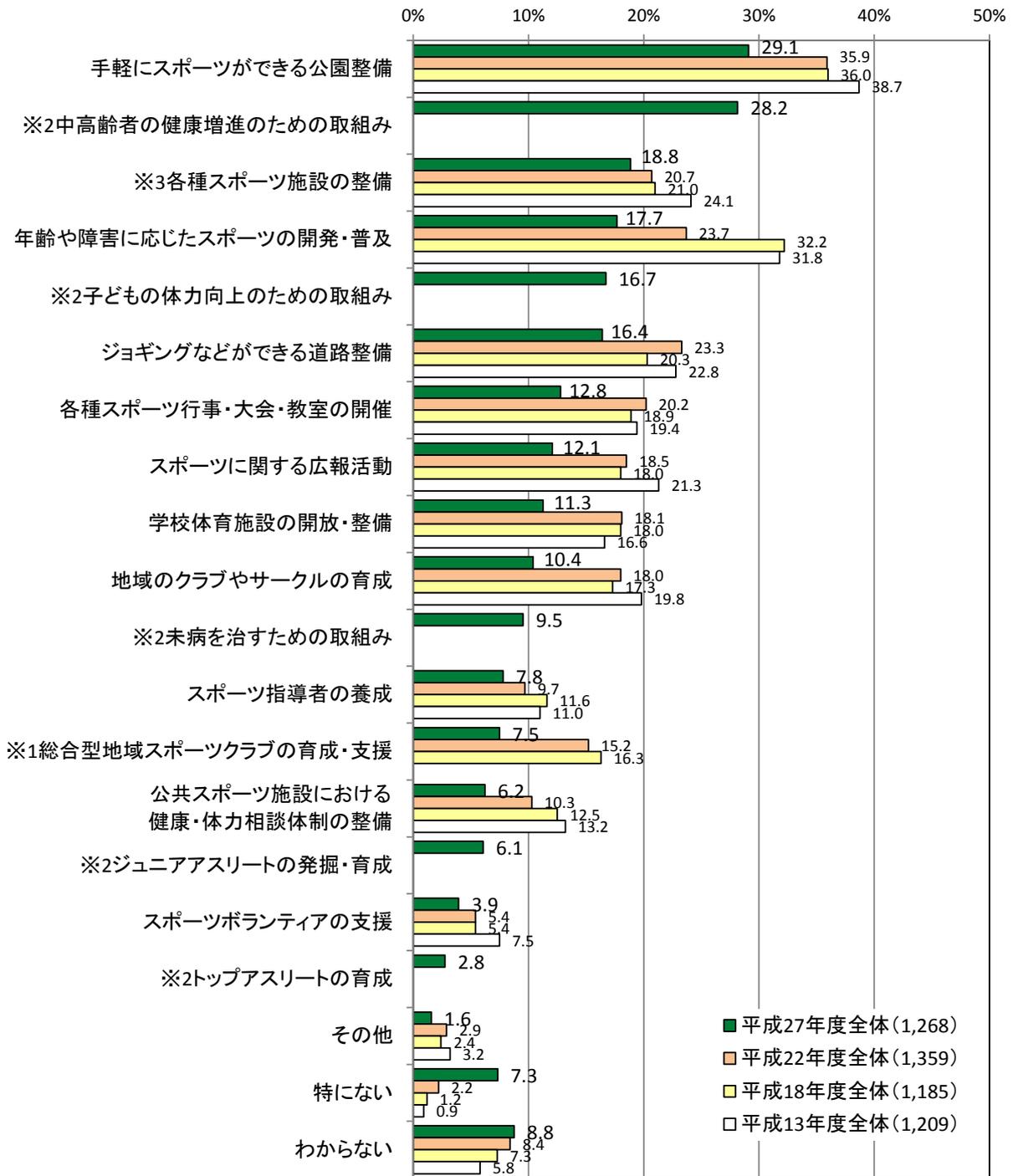
選択肢番号【13～17】は平成27年度調査から追加

全員に、スポーツ振興を図るための、県による今後の取組み内容についてたずねたところ、「手軽にスポーツができる公園整備」(29.1%)が最も高く、次いで平成27年度より追加した「中高齢者の健康増進のための取組み」(28.2%)、「各種スポーツ施設の整備」(18.8%)の順となった。

これまでに比べ割合は低下したが、「手軽にスポーツができる公園整備」が引き続き最も高かった。

図表、次ページ参照

【図表5-18：県の取組みへの要望（全体比較）／複数回答】



※1 は平成 18 年度調査から追加した項目

※2 は平成 27 年度調査で追加した項目

※3 は平成 22 年度調査までのデータは「野外スポーツ活動施設の整備」と「野外を除く各種スポーツ施設の整備」を合算してある

**県民の体力・スポーツに関する調査
結果報告書【時系列比較】**

発 行 神奈川県立体育センター
〒251-0871 藤沢市善行7-1-2
電話 (0466) 81-2570

発 行 日 平成 28 (2016) 年 2 月



神奈川県

体育センター 電話(0466)81-2570 FAX(0466)83-4622
藤沢市善行 7-1-2 〒251-0871



スポーツ振興くじ助成事業